大正九年十一月二日第三種郵便物認可

昭和十三年八月十三日（土曜日）　第五千五百九十三號（一）

新京日日新聞

夕刊　八月十二日

本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓　郵税一ケ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用③三二〇五　營業局專用③三三二〇
發行人　十河榮忠　編輯人　松本勇　印刷人　永越内之介

張鼓峯における現地協定内容

【東京國通】陸軍省十二日午前十時卅分發表＝十一日午後八時長大佐はソ軍々團大將シユテルン（極東方面軍參謀長）と張鼓峰方面ソ軍陣營内において會見し、左の要旨の協定を遂げたり

一、日ソ兩軍は現在線において嚴に戰鬪行爲を停止すること　二、兩軍間にある死體は兩軍においてそれ〴〵收容すること　三、兩軍の現在線は十二日正午張鼓峰東方白壁の家において更に確認協定すること　四、右の三項はその時文書をもつて交換すること

「説明」シユテルン大將はスペインのソ聯軍事顧問で本年四月極東軍參謀長に任ぜられたもので、ソ軍における近代戰指導の權威者で最も有能の士である

善後措置討議のため　重光・リトヴイノフ會見

【モスクワ十一日發國通】十一日タス通信社の發表によれば、重光大使とリトヴイノフ外務人民委員は停戰協定成立に引續き今後の善後措置を討議するため八月十二日正午再び會見することゝなつた

モスクワ外交界　影響を重視

【モスクワ十一日發國通】重光、リトヴイノフ第三次會見がつひに停戰協定の締結に成功したといふ報道は十一日早朝逸早くモスクワにある外人の間にも傳はり日支紛爭の前途について懸念してゐるモスクワ外交界もまづ一安心といつた形で協定成立を歡迎してゐる、殊に今回の停戰協定成立はたゞに張鼓峰事件の解決に止まらず延いて日ソ兩國間に横はる諸種の懸案を解決する緒をつけたものとして協定成立の影響を重視してゐる

外人記者團　十二日朝現地を引揚ぐ

【雄基國通】日ソ兩軍の衝突直後戰線一帶を馳驅して報道線に活躍したロイテル、A・P、D・N・Bの外人記者團は十二日朝當地發新京經由任地に歸る豫定

佛政府も大滿足

【パリ十一日發國通】張鼓峰事件に關し日ソ間に停戰協定成立したとの報につきフランス外務省筋では十一日午前「世界平和のため慶祝に堪へぬ」と言葉は少いが大滿足の意を表明した、佛政府は日ソ紛爭が歐洲政局を左右する意味で半ば樂觀しながらも半ば恐慌状態であつたもので今回の協定成立によりほつと一安心の態がうかゞはれる、なほ新聞紙も大々的に協定成立を報じてゐる

ロンドン各紙　大々的に報道

【ロンドン十日發國通】ハリファックス外相は十日午後三時首相官邸にチエンバレン首相を訪問し極東問題その他國際情勢につき長時間に亘り懇談を遂げ兩者共に日ソ紛爭はこの上重大化せず局地に解決されるとの見透しにつき意見一致した模様であるが、十日深更に至りモスクワから停戰協定成立の報が傳へられロンドン各紙とも十一日附朝刊に大々的に掲載してゐる、勿論國境の確定に關する交渉は前途相當の困難を免れないが危機は解消したと見てロンドン外交界もほつとした態である

外人記者團語る

【○○十二日發國通】○○に滯在しソ聯空陸攻撃の不法あくなき暴虐振りを連日に亘つて視察中であつた外國新聞通信社特派記者團一行に十一日發表された停戰協定の成立を齎すと最年長者ルーターのドルトン特派員は欣然左の通り語る

停戰協定が成立したことは非常に喜ばしい、これは單に極東平和の爲ばかりでなく世界平和のために嬉しいこの協定を成立せしめるに至つた最も大きな原因は一に日本軍の隠忍自重の賜物であり、前線日本軍の軍規遵奉の徹底を如實に示してゐる、事件の完全なる解決は今後の外交交渉の結果に俟たなければならないから今こゝで豫言することは出來ない、自分は今回の事件が兩國間外交折衝により完全に解決され、ひいては日ソ間の諸懸案を外交交渉により解決する導因となるであらうことを切望して止まない次第である

尚一行は雄基を十二日午前五時出發南陽經由新京に向つた

張鼓峰一帶にピタリ砲聲やむ
＝部下の忠烈を語る部隊長＝

【○○十二日發國通】十一日正午を期して砲聲は拭ひ去るやうに止んだ、午後四時頃に漸く晴れ上り張鼓峰もクッキリと青空に浮んだ、昨日まで黒鬼のやうに驅け廻つたソ聯機も今日は自國領土の空にさへ現はれてゐない、八月中旬眞夏の太陽の下、修羅場と化した現場では戰火收まるの日蕭々たる秋風が訪れはじめてゐるやうだ、張鼓峰の山形をも改めたソ聯の集中砲火や、盲爆撃を物ともせず一寸の領土たりとも讓らずと頑張り通したわが第一線の勇士はどうしてゐるだらうか、記者は今前線から歸つたばかりの○○を摑まへて尋ねたところボツリボツリと次のやうに語り出した

何しろそれはえらい戰鬪だつたよ、晝となく夜となく前線は砲彈の夕立の中にあつたやうなものだ、皇軍でなければ世界中どの軍隊があの彈雨の中で第一線を守りつゞけることが出來るであらうか、忠勇に凝つた金剛力、義烈に固まつた不壞の玉とはこのことだ、自分は部下ながらその奮戰を見てゐると頭が下つて來た、日本人は實にえらいよ

そこでゴクリと唾を呑みこんだ後

昨日正午射ち方止めの命令一下皇軍の第一線は一瞬にして沈默しながら、ソ聯側では未練にも銃聲は暫くつゞいてゐた、それも靜まつて第一線は無氣味ながらに靜かになつたよ、ふと氣がつくと何處かで虫の聲がするではないか、兵は虫だ虫だと大はしやぎにはしやいでゐたよ

それから何か思ひ出したやうにカラカラと笑ひながら

正午に戰鬪を中止するやわが第一線の彼方此方に期せずした日章旗が上つた、ところが之を見たロシア軍が塹壕の其處此處からのこのこと赤旗を繰り出して來たのには大笑ひだつた

臨普縣を占領

【石家莊十一日發國通】わが眞野部隊は九日午後十時山西省西南部臨晉縣を完全にその手中に收め、この戰で敵百七十七師の一部に潰滅的打撃を與へ附近一帶を掃蕩しつゝ引續き西方黄河の線に進撃中

九江來襲の敵機　三機撃墜

【九江十一日發國通】九江占領以來全く姿を見せなかつた敵飛行機が十一日朝二回にわたつて九江上空に現はれた、第一回は午前八時六分S・B重爆機四機編隊で湖口方面より飛來し來り、わが江上船舶めがけて十數發の爆彈を投下したが、わが方に損害なく、敵は南方に飛び去らんとしたが赤山部隊の猛射に中二機は撃墜され一機は翼に命中錐もみ状態となつて九江西南方約十キロの地點に眞逆樣に落下、機片が附近にヒラヒラ落ちるのが眺められた、更に九時卅五分再度S・B重爆機が編隊で來襲したが、わが對空砲火の猛射に倉皇として一發も投彈し得ずして逃走した

潿江口を爆撃

【香港十一日發國通】わが海軍航空隊は十一日朝またも豪雨を冒して粤漢鐵道潿江口を爆撃多大の損害を與へた

歸順軍が敵六百を潰滅

【北京十一日發國通】山東における歸順軍各部隊は各地に亘つて敵匪の討伐を行つてゐるが、張宗援を司令とする掃共第三路軍は八日諸城東方約七里半舗上集で石友三系第二十路枝隊約六百と遭遇これを西南方に潰走せしめ遺棄死體五十、捕虜五十、山砲二、小銃百八十二、自動車十、ラヂオ一を鹵獲した

米大使重慶着

【香港十一日發國通】重慶來電によれば去る二日米國砲艦ルソン號で漢口を出發したアメリカ大使ジョンソン氏は九日朝重慶に到着した

南洋廳の飛行艇　途中不時着

【東京國通】南洋廳飛行艇ダグラス機は十日午前四時四十分内地發サイパンに向ふ途中午前十一時廿分右側發動機に故障を生じたゝめ父島に引返すべく飛行中午後零時二十四分北緯二十五度十七分、東經百四十三度十分（父島の南々東百二十浬）の海上で不時着した旨同機より南洋廳に入電があつた、同廳では直に不時着地點附近を南航中の郵船定期船ぱらお丸を急派、同船は十日午後五時四十分現場に到着したが機影を認めず、同廳では更に附近航行中の内外各船舶に依頼電を發し萬全の手配を行つてゐる、右につき南洋廳東京出張所への報告によれば十一日正午過ぎるも未だ發見されず氣遣はれてゐる、なほ同機乘組員は勝畠航空官以下七名である

人事往來

▲隈元昇氏（電業）十二日來京　國都ホテル
▲喜田長雄氏（外務省官吏）同　滿蒙ホテル
▲有本邦太郎氏（醫學博士）同
▲奥村四郎氏（昭和製鋼所）同
▲岡野郁夫氏（日滿パルプ）同　中央ホテル
▲越中谷與四郎氏（同）同
▲帆足長藏氏（會社員）同
▲福島茂助氏（同）同
▲近藤松五郎氏（商業）同
▲飯島丑五郎氏（土建業）同
▲大畑晴可氏（同）同
▲宮原井知助氏（會社員）同
▲黒住彌一郎氏（釀造業）同　都ホテル
▲松尾良介氏（滿鐵）同
▲小澤寅則氏（外務省官吏）同
▲藤森隆雄氏（滿映）同
▲戸村作太郎氏（土建業）同
▲桐原俊藏氏（同）同
▲牛田三次氏（同）同
▲櫻山四郎氏（映畫業）同　都ホテル
▲渡辺次郎氏（パルプ會社）同
▲戸倉誠司（同）同

その日〳〵

□ 今度はソ聯が約束を實行するかどうか、それをしかと見ねばならぬ

□ この際例のニチエウオー主義なんかで片付けられることは御免である

□ 溺れる國民政府、はつきりと摑んだものが藁だつたことを知つたらう

□ いかに代用品時代でも、相手を制するに利用されるのはソ聯も嫌だらう

□ 思ひ出の一年、時代は何と強い足どりでこの大陸を踏んで來たことか

南京渡洋爆撃の當時を顧みて
海の荒鷲座談會

【南京十二日發國通】昨年八月十五日颱風を衝き空戰史の未曾有の渡洋爆撃を敢行して敵の首都南京を完膚なきまでにたゝきつけたわが海の荒鷲は更に一ケ年を通じて全支の空を制壓、支那空軍を潰滅、遂に蔣政權を瀕死の状態に陥らしめてゐるが、第一回の南京空襲を始め南昌、漢口、廣東等各地の空襲に偉功を樹てた海の荒鷲馬野光部隊長以下の勇士達は十日午後思ひ出の地○○海軍武官室に座談會を開き手柄話や名譽の戰死を遂げた戰友の思ひ出を語つてくれた、出席者は左の通り

出席者氏名

少佐　馬野光（廣島）
大尉　柴田彌五郎（福岡）
空曹長　田中寅吉（茨城）
同　松丸三郎（同）
同　星野廣幡（愛媛）
一空曹　末廣主税（大分）
同　馬場政春（福島）
二空曹　柳澤良平（長野）
三空曹　關口一三（廣島）
一整曹　原田周藏（山形）
同　下川
司會者　磯部少佐（川越）

磯部　今日は第一回南京渡洋爆撃の日と天候も甚だよく似てゐる、想出を新たにしてお話を當時の勇士達にお願ひします

田中　最初の時は○○基地を悲壯な決心で飛び出した、上海から各地は可成りの惡天候といはれてゐたが、○○基地附近は天候がよかつた、パーム普島附近までは全機揃つてやつて來るゝ天候が急變し花鳥山附近は密雲に閉ぢこめられてみた、第一番隊と離れ自分の屬してゐる第二番隊は南京を目指してつき進んだが、奥地に入るに從つて天候いよ〳〵惡化して遂に南京を發見するに至らず引き揚げたのだから今思へば鄱陽湖と南京中間を二時間もうろ〳〵してゐたのです、基地に歸つてみると南京空爆に成功した第一番隊はじめ僚機が滿身創痍といつた姿で凱旋してゐた、戰友から南京空爆の模様を聞いて見ると垂れ罩めた密雲の下に出て地上すれ〳〵の低空飛行で更に南京を探す等の苦勞をし、南京發見と同時に物凄い防空砲火の洗禮を受け、大校場飛行場で待機してゐた敵の戰鬪機が續々と挑戰して來たり、敵の重圍下に必死の苦戰を續けつゝ美事目的を達したものである、東支那海の荒波を渡つて還るといふ緊張は戰に赴いて還るといふ緊張はなく、練習飛行の様な呑氣な氣持であつた

下川　自分は一番隊に屬して南京空襲に成功した組である、當時は未だ上海附近で敵機が旺んに暴れ廻つてゐた頃でその脅威を受ける同胞達のことを考へるとたまらなかつた、十四日夕刻爆撃隊參加の命令を受けた時の感激は今でも忘れられぬ、我々の一番隊は花鳥山附近で僚機と別れ、太湖に入り、出て見ると湖面すれ〳〵に敵機の一隊が飛翔してゐた、その跡を追ふ様に揚子江岸に出てしばらくすると大きな町と飛行場を發見した、目指す南京だと躍る胸を撫で下ろして見ると敵機は地上に七機程あつたが、どうも南京らしくない、しばらくその上空を旋回してゐる中にそこが蕪湖だと分つた、もう占めたものだと紫金山を目指して逆戻りし、いよ〳〵南京にお目見得した、一番隊の任務は故宮飛行場爆撃であつたが、茲には敵機は廿五、六機だつたので爆彈を一發落して大校場飛行場に來て見ると六、七十機ばかりの敵機が居た、第一彈をお見舞しやうとすると二十機程上つて來た、はじめての敵機の機銃と地上砲火をくゞりながら先づ東側格納庫を目がけて投彈した、黒煙が上つて正に命中したのだ、續いて第二彈を放ち十機の敵戰鬪機をまきながら歸途についた、紫金山の右を旋回して城壁外に脱出した瞬間四番機が火を吐いてゐるのが見えた、この時はほんとに腸をかきむしられる思ひであつた

柳澤　自分は一番隊の三番機だつたが、空中戰は實に物凄かつた、敵戰鬪機は五十米も接近して攻撃して來た、自分は初陣だし、まるで演習時の様な氣持で旋回銃をふり廻してボーイング四機を撃墜した

磯部　では續いて何回位渡洋空襲をやつたか、また爆撃中の苦しかつたことなど思ひ出話をやつて下さい

松丸　自分は第一回渡洋爆撃隊に漏れたがその後ずつと渡洋戰に參加した、自分は十年以上も操縱をやつてゐるが、何回やつても海の上を飛ぶのは實際苦手だ、何時も雲と雨に惱まされ歸りに基地が見えるまで全く氣が氣でない

田中　八月十六日の蘇州の薄暮攻撃の歸途雷雨に阻まれて基地が發見出來ず遂に夜明けまで海上をうろ〳〵した時は全く困つた、杭州灣敵前上陸援護の時もやはり雨天候に惱まされ難行した、こんなことは十八年間の航空生活中はじめてゞあつた

星野　僕の隊は梅林、山内兩大尉を出した名譽の部隊であるが、基地からも近いので渡洋するのも樂でいつも左團扇だつた

松丸　○○基地から廣東空襲に出發の際旅館の女中に今日は歸らんかも判らんといふと女中が大變怒つて梅林大尉か戰死された朝もそんなことをいつて出かけられた、縁起がよくないから出直して下さいと無理矢理部屋に歸つて出直させられたこともあつた

關口　自分は參加が少し遲れたが、先輩の活躍を聞いて殘念がつてゐたが、十一月十一日の南京空爆に望みが叶つて森永大尉指揮の下に初戰した、この時戰友の多田一空曹、丸山二空曹が高角砲にやられ敵陣に突入、自爆して壯烈鬼神を哭かしめた事が未だ忘れられない、丸山は胸膜炎を病んでゐて軍醫から參加することを止められてゐたのを特に願つて出發したものであつた

馬場　九月廿五日の漢口空爆に參加したが、この日漢口兵工廠を爆撃して歸途夕闇の中を突如敵のカーチスホーク二十機に四方から攻撃された、敵は輕快でひらりと身を翻す度に青天白日旗が光るが實に癪にさわつた

下川　あの時の戰鬪は君の隊より俺の方に敵機が澤山來た、歸つて見ると十三粍を十二彈も機體に受けてゐた、漢陽の兵工廠に爆彈を投下して歸らうと思ふとまた三機ばかりに喰ひ下られた、この時左足の下にガーンと一發食つた、これで操縦席は白煙が一杯立ちこめたがそつと下を見るとビールの栓のやうなものと肉塊が散らばつてゐる、しまつたと思つて見たが誰も怪我をしてゐない、敵彈はラム酒の壜と肉罐を貫いてそれが四散したものだつた

末廣　十月廿日の南京攻撃の時自分は二番機だつたが一番機がさかんに高角砲に撃たれてゐる、どうして私の方は撃たれないだらうと思つてゐたが基地へ歸つて聞いて見ると何の事だ、一番機も私と同じ事を言つてゐた、自分の方の事は判らないから案外平氣だ

松丸　どうも敵の高角砲は下手だ、飛行機の過ぎ去つた後ばかり狙つてゐる

田中　自分は渡洋爆撃を卅回以上もやつたが、遂には海の上に途がついてゐる様な氣持がした、○○基地、上海との中間は必ず鯨が五頭游泳してをりそれから卅分すると揚子江の濁流が見えはじめ、更に卅分で上海が見える、支那の燈火管制は仲々うまい、都會へ三哩位近づくと空襲警報が發せられるのか街の燈が碁盤の目のやうに一區劃、一區劃づゝ消されて行く

柴田　三月十四日の漢口攻撃の時の敵の醜態振りといつたらなかつた、我爆撃隊が漢口上空に迫つても雲のため氣付かなかつたのか全市街が煌々と電燈をつけてゐるし飛行場にはライトをつけた自動車がさかんに往來してゐる絶好の目標だつたので全部爆彈を落してしまふと驚いて敵は燈火管制をやつたよ

星野　探照燈では面白いことがある、南昌の夜間爆撃に行つたが暗いので南昌が發見出來ず二時間も迷つてゐたら敵が探照燈をつけてくれたので途端に飛行場の位置が判つた

梅野　漢口は餘命幾何もない、我々が空襲すると最初の頃は高角砲を盛んに撃ち敵機が飛んで來たが最近はさつぱり來なくなつた、江岸の船も少くなつてゐる、確かに死相が見へて來た、南京、徐州の陥る前もこれと同じ感がした

磯部　皆さんの空襲回數のレコードはどうですか

田中　自分はやつと百十一回です

松丸　自分は百四回です

松田　八十九回

下川　九十六回

柳澤　八十七回

田代　八十一、二回でせう

關口　八十回位、僕は出征は非常に遲れたが一日二、三回かせいだ

柴田　田舍廻りばかりだつたので五、六十回だつた、皆のレコードを聞いてゐると大體半年で五十回、一年で百回だね

磯部　一番壯烈な空中戰の話をして下さい

馬野　末廣、七月七日の南昌空中戰を話せよ

末廣　私は小川中尉機の操縦者として出かけた、すつかり爆彈投下を了へて愉快になつてゐると敵彈を受けて右翼から火を吐き出した、敵機はなほも執拗に追襲して來る、最後だと思つたが追ひ込んで行けば火が消えるかも知れぬと猛然と急降下をやつてみると、はじめ黒煙だつた火は赤い焔となつてまだ燃えてゐる、愈々駄目だと小川中尉を振りかへると中尉は默念と腕を組んで一言も發しない、この沈着な機長を見て自分も落着き、再度の急降下で幸ひ全く火を消すことが出來た、全く天佑だ

松丸　あの時は實に心配した、君の機が火を吐いて墜落するから「あゝやられたな」と思つて基地に歸ると小川中尉がニコニコして立つてゐる、まるで狐にばかされたやうな氣がした

下川　最近の南昌空襲の歸途密雲を避けて低空飛行をやつてゐると十數機の敵戰鬪機の襲撃を受けた、此時の敵は仲々勇敢で殘念ながら我四番機が火を吹いて墜落、續いて三番機は敵機を一機撃墜したが自分の方もやられて火を吹き出した、こちらから見てゐると全機火に包まれてゐる、機長の紺野空曹長が肥つた體で火を防ぎながら左手でカバーを押上げながら右手で操縱して編隊を崩さず我々の後を暫く追つて來た、實に悲壯の極みであつた

磯部　事變初期と現在の敵機の變化はどうですか

柴田　事變初めの敵機の種類は二十種もあつた、最近は十種そこ〳〵だ、敵の戰鬪機も最近は大部戰鬪法がうまくなつたが、爆撃隊のがつちりした編隊襲撃には手も足も出ない

磯部　戰死された戰友の思出話をして下さい

柳澤　無二の親友で第一回南京空爆の華と散つた須藤一空曹の遺骸が半年も經つた去る一月十六日南京城外東北五里の山中で發見されたときは全く感慨無量だつた、見慣れた故人のガーターでそれと判り悲しみを新たにした

末廣　第二回、第三回の南京空襲の殊勳者岡島德三君を一月十日の空中戰で失つたのは全く惜しい

關口　それに岡島君は非常な兄弟思ひで現在郷里の中學校に通學してゐる弟さんを大學までやるんだといつてゐたが氣の毒なことをした

田中　○○基地の丘曹長以下六人のうち殘つてゐるのはたつた自分一人だ、非常に寂しくも感じまた責任の重大さを覺える

馬野　昨年十二月廿二日戰死した大林少佐は豫て戰鬪機の三機編成攻撃法を提唱してゐた人であるが、それがあの日南京空襲に際し奇しくも同少佐の持論をそのまゝ三機編成で突つ込んだ敵戰鬪機と渡り合つて遂に壯烈な戰死を遂げた、我意を得た好敵手と心行くまで戰つたのでさぞ滿足してゐることだらう、我々空中勤務者となることを天譜を完うしたものとして常に光榮且つ滿足に思つてゐるが、航空技術關係の地上整備員の隱れた功績とは感謝に堪へぬ、聖戰始まつて以來一年餘の内に機の故障で不時着したり空中戰の最中機銃の故障を起したことなど一度もないのは全く整備員と地上勤務員の努力の御蔭です

本年度全滿農產物 平年作以上期待

第一回農產物收穫豫想高

產業部農務司發表

本年度全滿農產物收穫高は天候不良ながら平年作以上を豫想されてゐるが產業部農務司發表による第一回農產物收穫豫想は左の通りである

△全國概況（熱河省及興安四省を除く）七月一日現在に於ける本年度第一回農產物收穫高豫想調查によれば作柄は局部的障碍を除き概ね良好にして各作物とも順調なる生育を辿りつゝあり今後の氣象適順なるを得ば平年作以上を期待し得る狀況なり作付面積は前年に比し一割近くの激增を示し爲に收穫高は孰れも增加し就中大豆、高粱、粟、玉蜀黍、小麥、水稻は一割乃至二割の增收を豫想せらる「註」前年作付面積及收穫高は省公署の報告を綜合したるものなり

△新京特別市　播種期より順調なる氣象に惠まれ發芽良好、生育齊一、諸作業も順調たる過程を辿りつゝあり

△吉林省　解氷期例年より平均二週間早く其後順調なる氣象に惠まれ發芽良好生育齊一にして特に西部乾燥地帶の諸縣は好調を示せり東部に於ては播種期の旱魃により稍作柄の低下を示せる箇所あるも全般を通じ平年作以上を豫想せらる、除草、中耕、培土等の諸作業に於ては勞賃の騰貴に依り順調を缺く地方若干あり

△龍江省　春耕期に於ける氣溫は例年に比し稍高きも地方により濕度の一昇一降ありて播種期の遲延を來せるものあり五月下旬より六月初に亘り降雨なく稍旱に過ぎたるも六月中旬以降適雨に惠まれ作況恢復せり省南部地方に於て稍不良なるものあるも全般を通じ平年作を豫想せらる

△黑河省　春期に於て氣溫の上昇早く播種も順調に行はれ發芽生育共に適順なる氣象に惠まれ良好なる生育を示せり局部的には農業勞働者の移入困難にして管理不充分なる箇所あれど作柄に及ぼす影響少く全般を通じ平年作以上を豫想せらる

△三江省　解氷期より播種期に亘り匪團部落の建設警備道路の改修等行はれ多少播種期の遲延を來し地方的には治安惡化に伴ふ人力畜力の不足により播種困難或は遲延を示せる箇所あり又六月中降雨甚過少により伸長充分ならざるものあり全般を通じ平年作に及ばず

△牡丹江省　早春に於ける氣溫、地溫の上昇早かりし爲播種は例年に比し約十日早く完了したるも、以後適濕に惠まれず特に五月中旬より六月下旬に亘り降雨なく近年稀有の旱害を蒙むるに至り各作物共生育を著しく阻害され殊に麥類水稻の被害甚大なり尙局部的には六月中旬に降雹あり蕎麥、蔬菜に改播せられたる地域も尠なからず作柄は平年に比し約三割減と豫想せらる

△濱江省　春分以後に於ける氣溫の上昇例年に比し早く播種發芽共に順調に進捗しありしも五月中旬より六月上旬に亘り雨量少く適濕を得ず小麥其他の麥類は被害尠なからざるものありしも其後漸次降雨を見、順調なる氣象條件に惠まれ作柄を恢復せるを以て全般を通じ平年作を豫想せらる

△間島省　前年に比し解氷期早く風强き爲乾燥甚しく播種、發芽等順調ならず特に水稻作に於ては水源涸渇し作柄の低下を示せり六月に至り降雨を得て作柄を恢復せるも平年作に及ばず

△通化省　早春より播種期前後低溫なりしを以て解氷期遲れ從つて播種期遲延せるも其後慈雨を得て發芽良好齊一なるを得たり引續き適順なる氣象に惠まれ局部的には雹害を蒙れる箇所あるも全般を通じ作柄良好平年作以上を豫想せらる

△安東省　初期に於ては一般に氣溫地溫の上昇頗る早く且つ適濕を得て普通作は四月下旬迄に殆んど播種を完了し發芽良好なるを得たり然るに五月下旬より六月に於ては低溫陰濕の天候連續したるにより局部的に病虫害の發生を見たるも全般を通じ生育良好にして平年作を豫想せらる

△奉天省　播種期の氣象は適順なりしも五月中旬より六月上旬に至る降雨過多の爲氣溫、地溫の低下を招き發芽、生育共に遲滯し作物によりては病虫害の發生を見、作況の低下を示せり然れども其後氣象好轉し各作物共旺盛なる生長を遂げたる結果全般を通じ平年作以上を豫想せらる

△錦州省　初期に於ては氣溫、地溫共に稍高く四月中下旬迄降雨少かりし爲播種を遲延したる地方あれど五月中旬降雨あり局部的に降雹を伴ひたるも六月に入り天候恢復し目下一般に生育良好にして平年作以上を豫想せらる

靡かぬ女に熱をあげ 喰ひつめて無理心中

昨夜新市街若草の慘劇

夏の夜を彩る首都新京の無理情死事件……本年五月頃より豐樂街料亭若草へ當時房產會社勤務本籍新潟縣北蒲原郡紫雲寺片野與市（二九）が同家の酌婦玉奴事秋元はな子（二五）に熱をあげて足繁く通つたが

女は いつか飽からとしないので業を煮やしてしばしば出刄庖丁を持出したりして不穩な行動に出るので、當時の大經路署に保護檢束を受けたこともあつた、その後遊興費に窮し各方面に不義理を重ねて遂に房產會社を退社して北滿海拉爾方面へ出稼ぎに行つてゐたが十一日夜飄然と歸京若草へ姿を現はして玉奴を相手に遊興して午後十一時頃歸るとて玄關に出て、外へ一寸散步に出ないか、出ませんと兩人で口爭ひしてゐた模樣であつたがその中急に女が悲鳴をあげたので家人が慌てゝ出てみた所男は何か兇器で女の頭部を滅多打ちに斬付けてゐたが家人の姿を見て逃走した、約五分後女に應急手當を加へてゐた所へ再び男は自ら腹を切つたものか血まみれになつて玄關に姿を現はし手にしてゐた上衣を「これがかたみだ」と投込んで姿を消した、この旨急報に接した順天署では署員出動して實地檢證を行ふと共に男の所在を搜したところ附近の畠に倒れてゐるのを發見直ちに滿鐵醫院に收容して手當を加へてゐるが、腹部を

縦に 約八センチ切つてゐるので重態の爲詳細判明せず兇器も發見されないが多分日本刀或は鋭利なナイフか剃刀と推定されてゐる、女の傷は案外輕く約三週間で全治の見込み

ネオン街獻納の高射機關銃 あす獻納式擧行

雨天の際は室町校講堂で

國都ネオン街の新京カフエー組合營業主及び女給軍を以て結成する國防婦人會朝日分會の熱誠の現はれ、九二式高射機關銃の獻納式は明十三日午前十時から室町小學校々庭で左記次第で盛大に行はれる、尙雨天の場合は同校講堂を會場に充てる

1、分會員入場　午前九時半
2、一般入場　九時五十分（來賓着席）
3、開式之辭　友松組合長
4、高射機關銃獻納之辭　前畑朝日分會長
5、修祓　神官
6、命名　神前　軍司令官
7、祭儀
　イ、降神
　ロ、獻饌
　ハ、祝詞
　ニ、淸祓
　ホ、玉串奉奠
　　1、滿洲國防婦人會本部長
　　2、軍司令官
　　3、朝日分會長
　　4、組合員代表
　ヘ、撤饌
　ト、昇神
8、感謝之辭
9、祝辭
10、祝電披露
11、萬歲三唱　大日本帝國萬歲　滿洲帝國萬歲
12、閉式之辭
閉式後の行事
　1、射擊操作の實演
　2、野宴

谷本司令官赴任

練習艦隊司令官に轉補された前駐滿海軍部司令官谷本馬太郎少將は大連まで見送りの御船參謀を帶同十二日午前十時發列車で駐滿海軍新高須司令官、代谷參謀長ら各幕僚、部員、關東軍、在京各部隊長等陸軍將星、大津關東局總長、柴崎總領事代理、滿洲國張總理、星野長官、橋本、大橋兩參議、于治安部大臣を始め各部大臣、張侍從武官長、田中中銀總裁、平島滿鐵理事、岩坂海友會長其他日滿各種團體代表等の盛大な見送りがあつたこれより先滿洲國皇帝陛下には谷本司令官在任中の功績を嘉せられ趙侍從武官を差遣はされ謁見室にて有難き御言葉を傳達、司令官は厚き恩召に感激した【寫眞は離京する司令官】

燈管系統の街燈は消燈

燈管訓練第一、第二日目は吉野區、興安區、敷島區に亘つて實施され好成績を收めたが第三日長春區一帶の燈管は訓練に實感を持たせる爲、街燈約束燈の一切を消燈することとなつた、これが爲一部訓練地域だけを消燈する譯に行かぬので今後其種訓練實施中は訓練實施系統の街燈は午後十時より十時半迄の非常管制中一齊に消燈され、薄暗い街を現出することとなつた

燈管中は電燈無料

但し日本の話

【名古屋國通】燈火管制中における電燈料徵收が問題となつてゐた折柄、東邦電力ではこんど全國にトップを切つて國策的立場から先づ名古屋市を手はじめに燈管期間中の電燈料は無料とし、日割をもつて計算することに方針を決定し十一日その旨發表した、右は極く短期間の場合は適用せぬことになつてゐるが何れにせよ東邦電力のこの措置は全國的に先例となるもので非常に注目されてゐる

龍豐線十五日から開通

八月一日より開通豫定の松花江ダム現場に通ずる龍豐線は水害のため延々となつてゐたが、いよいよ十五日から開通することゝなつた、なほ運轉は一往復で發着時間は左の通りである

驛	時刻
吉林發	一二時〇〇分
龍潭山着	一二時一〇分
同發	一二時四〇分
小豐滿着	一三時四八分
小豐滿發	一五時〇五分
龍潭山着	一六時一三分
同發	一七時〇〇分
吉林着	一七時一〇分

滿映一部機構改組 人事異動行はる

積極的事業に乘出す

大陸映畫開發の國策に邁進して來た滿洲映畫協會は曩に二度に亘つてその機構の改革を行つたが何れも過渡的情勢に即應する一時的のものであつたが、最近事業の積極的展開と人材擴充に伴つてこの度更に一部の職制を變更、製作、宣傳を强化せる人事の異動を斷行した、これは又一面に於て事變下に於ける映畫事業の重要性に鑑み一層事業の圓滑化を期したものである、即ち從來の理事長室を總務部とし理事長室所屬の企劃室は總務課內の一係に壓縮し、技術研究室の業務は總務部から切り離し更に總務課所屬の弘報係を總務部の宣傳課に昇格し配給部には管理、配給、營業の三課を置き製作部に庶務、企劃、撮影、技術の四課を設け夫々從來の係制度に代へ、一般業務組織の統一、一元化を完成したものである、尙新組織による主なる人事異動は左の如くである

參事　山梨稔　總務部長兼北京出張所長を命ず
職員　三上眞熊雄　總務部總務課長を命ず
職員　新保爲雄　總務部經理課長代理を命ず
參事　陳承翰　總務部宣傳課長を命ず
職員　岡村章　職員　杉原致　總務部宣傳課長代理を命ず
職員　橋本勝太郎　配給部管理課長を命ず
配給部次長　伊藤義　配給部配給課長事務取扱を命ず
職員　田浦直司　配給部營業課長代理を命ず
理事　根岸寬一　製作部長事務取扱兼製作部企劃課長事務取扱を命ず
職員　河野茂　製作部庶務課長を命ず
製作部次長　牧野滿男　製作部撮影課長事務取扱を命ず
職員　川口誠彌　製作部技術課長を命ず

內地から更に權威者を招聘

林常務近く東上

滿洲映畫協會は社業の積極的發展に即應する職制改革と人事の異動を十二日發表したが更に製作部の企劃、撮影、技術各課の人容を强化すべく專門的權威者を招聘することとなり、近く林常務理事が內地に赴き交涉を進めることとなつた

動植物園に結ぶ日滿ブロック

珍重なるものを物々交換

南嶺綜合運動場西側に建設されることとなつた東洋一の新京動植物園設計の爲來京中の古賀上野動物園長は連日現場に出張して建設指揮をしてゐるが來年からは早速動物を購入して內容を充實せねばならぬので、現在日本の動物園で預ける餘裕のある猛獸類ライオン、虎、豹、象等と滿洲で捕獲されるノロ、丹頂鶴等の世界の各動物園で欲しがつてゐる珍重な動物を交換すべく計畫中で古賀園長が東京に歸つてから詳細な計畫を具體化し、原則として新京動物園の獸類は外國より購入せず飽迄日滿ブロックに依る物々交換で行く方針を決定してゐる

あすの野球

（午後五時 西公園球場）

タイガース對滿洲國（入場料七十錢）

外山卯三郎氏 作品を寄贈

蒙古文化の開發に專念してゐる蒙古會館では日本內地兒童作品を蒐集し蒙古兒童教育に資せんと種々準備中のところ目下滯京中の日本兒童作品研究の權威たる美術批評家協會事務長外山卯三郎氏の贊同を得同氏が所藏せる兒童畫三萬點のうち最も優秀なる代表的作品約二百點を寄贈することゝなり蒙古會館では同作品の到着を待ち甘珠爾廟會を中心に蒙古各地で日本兒童作品展覽會を開催する豫定である、蒙古に於いて日本內地兒童作品の展覽會はこれが嚆矢であり成果は期待されてゐる

全滿庭球大會 組合せ決まる

堂々八チーム出場

既報來る十四日電々コートで開催せらるる全滿軟式庭球大會出場チーム申込みも大體に於て完了したので十一日午後三時より市公署會議室に滿洲國體育聯盟、新京郵務局庭球部役員、軟式庭球協會役員並に當日出場チームの抽籤を行つた結果は左記の通りである

Aコート
第一回戰
△四平街對新京
△哈爾濱對鞍山

Bコート
第一回戰
△撫順對開原
△吉林對奉天

以上の如くで本大會は全滿庭球界を通じ年中行事中最も權威ある大會にて本年の如き八チーム集合するが如きは今迄に其例を見ない事である

タイガース あすから試合

强力な投手陣と長打力を誇る待望のタイガース野球團岸大監督、松本主將以下選手一行二十五名は十二日午前七時來京大都ホテルに入つた、一行の新京に於ける試合日程は左の通りで試合開始は毎日午後五時十四日は午後三時と同五時の豫定、入場料は十四日は一圓、他は七十錢である

十三日　對滿洲國
十四日　對電業、對電々
十五日　對新京俱樂部

なほ十二日來京豫定の中大野球部は都合に依り十六日に延期した

大連實業勝つ

對專修野球戰

專修大學對大連實業野球戰は十一日午後四時四十分から實業球場に專修先攻で開始、兩軍とも凡失と貧打戰を續け結局五A對三で實業勝つ閉戰六時卅五分

△スコア

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
專修	1	0	1	0	0	1	0	0	0	
實業	1	0	0	0	2	0	0	2	A	

5A—3

△バッテリー
實業　田部、岩崎＝岩村
專修　浅岡、立谷＝逸木、藤原

門前の小僧 賊を捕ふ

四家子の拳銃强盜、金泰の時計泥棒に續く街の勇士第三話……興安胡同一一三弘道館劍道五段藤下淸吉氏方ボーイ寺長靑（一七）君は門前の小僧習はぬお經を讀むで劍道を一人前に使ふ靑年であるが、十日午後五時頃玄關先で新品の靴一足を素早く盜んで逃げようとする男の姿を見付け逃してなるものかと後追駈けて組付いた所この男案外弱くてドウと言はず捕へられて首都警察廳へと屆けられた、取調べの結果全羅南道榮山面生れ東四馬路韓二萬（二四）といふ半島人と判明

伯林、紐育間 無着陸飛行

【ニューヨーク十一日發國通】ヘンケ操縱のコンドル機は前後廿五時間で悠々大西洋を橫斷し米國東部標準時十一日午後二時五十三分ニューヨーク郊外のフロイドベネット飛行場に到着した、大西洋橫斷飛行はルフトハンザ會社の定期航路開拓準備と共に同機の性能小手調べをかねた試驗飛行で、ヘンケ機は一旦ベルリンに歸還後三名の搭乘員をもつていよいよ大圈コース南廻り世界一周を決行する豫定である

建國大學生視察

建國大學々生百五十名は夏休みを利用して哈爾濱、佳木斯、勃利等の移民地及び同訓練所を視察することになり平安教授引率の下に十三日午前零時發列車で北滿に向ふ

神尾式春氏來社

全滿合作社聯合會副理事長に新任の神尾式春氏は同會庶務課長關時藏氏と挨拶に來社

レコ・ドコンサート

森洋行蓄音器部では十四日午後七時三十分より記念公會堂に於て優秀洋樂のレコードコンサートを開催する

一、ピアノと管絃樂　ピアノ協奏曲　第一番變ロ短調
二、ヴァイオリンとピアノ　奏鳴曲　第十番ト長調
三、ヴァイオリンと管絃樂　チゴイネルヴァイゼン
四、チエロとピアノ　チエロ奏鳴曲　ヘ長調

あす（十三日）

▲戰死者遺骨着京、午後四時二十分及同七時三十五分
▲上海事變慰靈の夕、午後八時、西公園誠忠碑前
▲臨時大掃除、興運路及寬城子署管內
▲防空訓練、大經區

今晩の主なる放送

▲七・三〇國民歌謠（東京）
▲七・四〇講演（新京）關口保
▲八・〇〇歌謠曲連夜（哈爾濱）明大マンドリンクラブ
▲八・三〇ラヂオドラマ「城のある町にて」（東京）村瀨幸子外

"國民裁判劇" 愈よ明晩開演

優待割引券を御利用下さい

實社會に起つた猟奇と戰慄すべき種々の事件を拉し來つて最も興味的に脚色し婦人子供にも陪審法が了解出來るやう教を垂れる『國民裁判劇』は本社後援にていよいよ十三日より三日間新京西廣場滿鐵倶樂部で開催されることになつた、裁判資料は既に新聞紙上を賑はした「原田妙子の犯罪」「女教員の犯罪」「富山家奇怪事件」「田邊絹枝の犯罪」等より取材し觀客の臨時陪審員によつて意見を上申し嚴肅にして峻烈なる檢事の論告、被告のため堂々の論陣を張る名辯護人の大熱辯等大法廷が展開されるが、このほか餘興として女流大劍劇をも上演する筈である、なほ本紙刷込の優待券を御持參すれば觀覽料が割引される【寫眞は法廷場面】

▽女教員の犯罪梗概　強き母性愛より自分の子供を護らんとして女教員杉野惠美子が華族の令夫人を殺すに至つた、これは何が原因か、彼女は女子師範を卒業間もなく實家が火災に罹り其時華族の後援を得て再興することが出來たその關係で彼女はその華族に行儀見習として奉公する事になつた、その家族の夫人は家付の娘とばかりに現在有閑マダム振りを發揮して家を外に遊びまわり主人は毎日悶々と樂しまざる中お互の同情が戀に變り越へてはならぬ垣を越へてしまつた、彼女は間もなく姙娠し子供を生んだが夫人の知る處となり子供をとられて彼女は追ひ出された、其後十三年の月日は流れた、その間夫人とその情夫の爲主人は毒殺され惠美子の遺兒眞野は驗の母を求めて十三年振りにめぐり會ひ喜びも束の間魔手はのびて子供をつれ返されんとした、而し此子供を渡せば必ず毒殺されるのは判つてる、此時強き母性愛は死をもつて子供を奪ひかえさんとしたが、女の可弱き腕ではどうする事も出來ず爭ひの間に手に觸れた兇物をもつて遂に此夫人を殺害するに至つたのである、果して彼女を殺人罪として暗き鐵窓につなぐべきか正當防衛として無罪となるか

番町皿屋敷 淺草の灯 けふから豐劇

豐樂劇場十二日よりの番組は左の如く松竹大作二本立である

▽松竹大船「淺草の灯」オペラ華やかなりし頃の淺草公園六區を背景に可憐な乙女のためにと廻り相手に果敢な血鬪を挑む俠骨逞しき若人を主人公に展げられるロマンチズム豐かな娛樂作、上原謙、高峰三枝子、夏川大二郎主演の他に齋藤達雄、笠智衆、坪内美子等助演、島津保次郎快調の一作

▽同京都「番町皿屋敷」林長二郎と田中絹代の主演したお馴染み綺堂作舞台劇の映畫化、多島泰三監督作品としてはいかゞはしい怪談趣味を廢したことに藤井滋司のシナリオとゝもに買へるものであつた、坂東橘之助、堀正夫、志賀靖郎、天野双一、南光明、久松三津枝等助演

サボテン

本名を知つてゐない者もちよいちよいあるといふ程ニツクネームの有名なモンテのモヤシこの程發心して女性らしい町孃な言葉を使はうと思つたところが話しかけた客のどれもこれも妙な顏をする上に「氣味が惡いからそんな町孃な言葉は止めてくれ」と口を揃への言だ▼これにはダアーとなつてしまつて彼は感嘆して曰く「私の傳法肌な言葉付きもそんなに有名になつたのかな、さう言へば誰も稲田和子さんと呼んでくれる人は居らない、遂に永遠にモヤシの名から脫することは出來ないか」▼キャピタルの牧春坊曰く「ゆめゆめダンサーには戀をするものでないですぞ、どんな素直な子にもちやんとした彼氏の一人や二人は居るからね」▼彼女の體驗を物語つてゐるのだから間違ひないところだらう、紹介して以てファン諸氏に警告する

雜音

帝都キネマ初日は平調なスタート

「北京」を入込みに「雪山の騎士」をトリに置いた編成であるが、「雪山の騎士」の取り柄はスキー場面の爽快さだけで劇部分は非道く詰らないから、結局今週の番組は劇的要素を求める觀客には魅力の薄いもの好ましい併立であるが下手をするとこれも企畫倒れになりさうな危惧がある▼最近のナイトショウ流行りの波に乘つて、こゝでも十二日より三日間「たそがれの維納」廿六日より三日間「ミモザ館」の二本を持出すことになつた、この他に『名畫祭り』とあつて「未完成交響樂」と「別れの曲」の併映が豫告されてゐる▼また豐劇にも近く久方振りの洋畫週間「第2情報部」「微笑む人生」の登場があり、このところ洋畫の虫ぼしの感がある、こればかりは代用品がないのだから使へるだけ見せぬと氣が濟まぬらしい

暦

八月十三日　土曜　舊七月十八日　丁丑　赤口　執　柳宿

東京・本鄕・神誠館

●一白の人　運動費のみ多くして先の氣受は却て惡き日　乙と丙と庚が吉

●二黑の人　文書は餘程注意せざれば憂を殘すことあり　甲と未と申が吉

●三碧の人　實力を顧みず過大なる事に手を出せば失敗　丁と辛と乾が吉

●四綠の人　褌を締め直して掛れば難みも解け去るべし　丁と庚と亥が吉

●五黃の人　一矢は折れ易きも三矢の力強し氣を揃へよ　甲と巳と未が吉

●六白の人　一歩は一歩よりと發展し行く勢の宜しき日　乙と巽と辛が吉

●七赤の人　新しき勢力の刻々と加はり來る盛運日たり　甲と巳と庚が吉

●八白の人　幸福に見ゆるとも實際の利得は却て少き日　甲と巽と申が吉

●九紫の人　運氣一轉面目の革まる日新しき事業に宜し　丁と子と癸が吉

國民裁判劇
日時　十三日から三日間
場所　西廣場倶樂部

愛讀者優待券

本券持參者に限り一圓廿錢のところ廿錢引き（但一人一枚限）

後援　新京日日新聞社

關東州鹽の減產僅に一割
鹹水溜施設による

本年度の關東州内製鹽狀況は四、五、六月に亘り天候不良のため相當減產を豫想されてゐたが、州内の製鹽事業は永年苦心の結果改良進歩のあと著しく、殊に鹹水溜の施設は降雨期に於て鹹水を速かに之に集め雨水を排水し得て氣候不順と雖もその減產率は極めて少く、現在のところ一割程度の減少で今後天候狀態が良好なれば豫定數量に達し得る見込みで、之を内地、滿洲、長蘆、青島各地の三割乃至五割の減產豫想に比し關東州鹽の誇りとしてゐる、なほさきに成立した關東州鹽業會も近く正副會長の任命を見る筈でいよ〱本格的に州内鹽田の開發並に合理化に乘出すことになつた

奉天省内の小麥粉配給割當決定

奉天省當局では本月中旬までに輸入される政府輸入小麥粉三十五萬袋のうち十二萬三千袋が省下に配給され、そのうち九萬袋が昭和製鋼所、撫順炭礦等の特殊會社に配給されることになつたので殘餘の三萬三千袋の配給割當に就き愼重調査を進めた結果、十一日に至り配給地並に配給數量を左の如く決定、直ちに當該市縣並に商工公會に通達すると共に配給方法、價格、決濟方法、取締等に關する一般配給要領を指示する所があつた、配給割當車數は左の通り

遼陽市 四 鞍山市 三
撫順市 六 四平街市 五
復縣 二 遼源縣 二
東豐縣 一 海龍縣 二
清原縣 一 奉天市 三

滿洲生保 七月中成績

滿洲生命七月中の保險事業成績は百六十三萬圓の新契約を獲得してゐるが滿洲國政府の一ケ年五億圓の貯蓄獎勵計畫案の具體化により更に上昇の途を辿るものと豫想されてゐる

月初現在契約、一三、八七六件、二二、二五八、二〇〇圓、新契約及その他の增加一、〇八八件、一、六三六、二〇〇圓、消滅契約その他、一〇一件、一五一、〇〇〇圓、月末現在契約一四、八六三件、二二、七四三、四〇〇圓

吉鐵八月中旬 荷動豫想

吉林鐵道局管内八月中旬荷動豫想

△木材 木材の需要益々旺盛で一日約二、五〇〇噸の持込をみ一七、〇〇〇噸の繰越構内在貨及び一四四、〇〇〇噸の院内在貨と共にこれの解消には木材輸送第一主義に則り一日一一〇車前後の發送を敢行する

△石炭 石炭は前旬同樣、西安七八車、營城一五車、蛟河三七車、老頭溝八車、計一三八車の發送を豫想せらる

△その他 セメント、礬石共前旬と大差なく特產物は凋落

混毛用特殊繭の國策會社設立決定

【東京國通】農林省では過般來興時下製糸業對策につき具體案を研究中であつたが去る六月より施行した絹糸類の新規用途開拓助成規則による混毛用特殊繭の增產と併行してこれが新政策實施の主體たるべき國策會社を設立することに決定、これに要する經費及び桑葉增植達のため密植桑園に對する助成金等何れも明年度豫算に計上することゝなつた、而して特殊繭增產の前提をなす絹と羊毛の强制混用、新會社に對する政府出資等に關し目下商工、大藏兩省と協議を進めてゐる、設立要綱左の如し

一、資本金 三千萬圓(政府羊毛工業會々員製糸業者出資)
一、特殊繭の生產目標は十四年度において一千五百萬貫十七年度において三千四百萬貫の方針を樹立、會社はこれと特約し買取り處理、配給に當る
一、同社は蒸煮定着などの裝置をなす

奉天生計費指數

前月四・一八%の上騰を見た奉天生計費指數は七月も依然强調を續け總指數一三三・三三となり前月に比し二・五%、前年同月に比すれば實に二六・二%を著騰、本指數の驚異的な最高指數を示現した

△類別比較指數(中銀調査康德三年平均一〇〇)

	對前月比	對前年同月比
飲食品費	(十)二、一八%	(十)二四、〇二%
被服費	(十)六、三五%	(十)三四、二六%
光熱費	(十)〇、〇四%	(十)一九、三四%
住居費	(十)一、三四%	(十)四、〇六%
雜品費	(十)〇、六六%	(十)二二、六六%
總指數	(十)二、五〇%	(十)二六、二〇%

即ち右五大費目別指數上騰の原因の主なる理由は

一、日本内地の綿製品滿支輸出禁止と相場の反騰による被服品費の奔騰
一、主食糧品は最高公定價格を見たが高粱の在庫不足と入荷難に公定價格十錢上げ嗜好品も微騰を見せ飲食品費の上騰を演じた
一、什器類續騰による住居費の微騰

と見られる、なほ本年一月七月の總指數について見れば左の如く累月全面的騰勢を示し高物價時代に一般生計難は益々深化するに至つた

總指數	
一月	一一七、〇八
二月	一一八、四四
三月	一一九、八五
四月	一二〇、二七
五月	一二四、八六
六月	一三〇、〇八
七月	一三三、三三

東拓定時株主總會

【東京國通】東拓では來る廿三日本社に定時株主總會を開き

一、當期決算案(株主配當率一分增の年六分)
一、理事渡邊忍辭任に伴ふ後任選擧の件

を附議することゝなつたが、後任理事には朝鮮平安南道知事上内彦策氏が就任することに内定した、なほ目下政府當局に認可申請中の當期決算案は原案通り認可される筈

滿洲大豆の六月中對獨輸出

駐滿ドイツ通商代表部は十一日滿洲國大豆の六月中對獨輸出量を左の通り發表した

一、一九三八年六月中ドイツが滿洲國より輸入せる大豆は六七、四一一噸價格六、四〇一、〇〇〇ライヒスマルクに達す
二、同右六月迄の累計は三八三、七五九噸價格三八、九三〇、〇〇〇ライヒスマルクに達す

第二回中央失業對策委員會

【東京國通】第二回中央失業對策特別委員會は十一日午後一時四十分から厚生省に開會、特別委員廿二名出席、さきに厚生省より提出の

一、失業一般對策
二、失業防止方策
三、失業救濟方策

につき審議をなしたが、更に各方策に關する具體的審議をなすため小委員會を設けることになり委員長以下各委員を決定、來る十五日午後一時三十分から第一回小委員會を開くことに申合せて午後四時散會した

輸出貿易振興策上より見たる 南洋の華僑問題(三)

天寶散史

◇華僑の實情

一國の外交がその商業經濟に重大な關係があるに拘らず過去に於けるわが外交は餘りにこの產業經濟の重要性に無關心であつたのは既述の如くであつた、が今更失敗の歴史を繰り展げて死兒の齡を數へるまでもないから潔く葬り、本論に立ちかへつて、南洋の華僑がわが外交上、經濟上如何に重大な因緣と、干係とを持つてゐるかといふことを述べやう。

所謂無憂境である印度、南洋に在る華僑の數については明瞭な數字は得られないが大體約六百五十萬人と云はれて如何なる山間僻地、シャウレイ蠻雨の地にも恐らくこの華僑の姿の見られないところはないといふ有樣で、特に各主要都市には最も集團し、或町の如きは全く支那人の町であるのもある。新嘉坡の如きは約六十萬の市民中四十萬人は實にこの華僑で、市街の外見はどうしても歐洲風であるが町の雰圍氣は支那人の呼吸によつて生きてゐるのである。

この華僑である支那人移民はわが國の南米乃至滿洲移民の如く、國家の援助によつて歡呼の聲に送られて渡航したものでなく、御馴染の布團包の中に一切の世帶道具を詰めて貨物船のデッキパセンジャーとして、鼻唄を唄びながら何の感激もなく至極無雜作に所謂萬里の波濤を越えて移住したもので、彼等の移住は眞實の移民で、明日の生命財產の保障も無い惠まれない鄕國を弊履の如く捨てゝ平和境、無憂境の天地印度、南洋へ渡ることを幸福とし、墳墓の地とし、已の國として渡航し、既に五代目、六代目の土着市民になり切つてゐて、所謂支那人でありながら母國の文字言語を解せず、家庭内でも他國語である筈の馬來語、爪哇語、シャム語、ビルマ語、印度語、比律賓語を自己の言葉としてゐる程で、既に彼等は支那民族とは云ひ得るが名實に支那國民とは謂はれない狀態である。

◇華僑の實力

彼等華僑は印度、南洋に渡航出來たことを無上の幸福とし孜々として奮鬪努力するために、僅かに渡航旅費しか持つて行かなかつた者で百萬長者となつてゐる者が少くなく遂に今日の强固な經濟的地盤を築きあげたのである。

この彼等の經濟的地盤の增大は自ら政治的、社會的勢力の增强となり、政治的支配者である白人の壓迫に對しては彼等の唯一の武器である經濟力をもつて之れに對抗し反撥するに至り、嘗て爪哇で彼等に對する社會的壓迫虐待に憤慨して和蘭人に食料品の不賣ボイコットをやつて見事に復仇した事例もあり、又社會の中樞をなす彼等の固執する風習には同化追從の止むを得ざる有樣で、彼等の祝祭日には好むと好まざるにとに拘らず凡ゆる經濟株買も休業するのが通例で、彼等華僑は居住外地を寧ろ自己の國と考へ居住外人を自分等の町に住む他國の在留民位に心得てゐるのである。

彼等のかゝる實力は獨て本國の政治にも及び又本國に於ける時の實權者によつて外交上に利用せらるゝに至つたことは自然の成行で、嘗て孫文をして「華僑はこれわが國革命の母なり」と叫ばしめた如きは、以つて彼等の豐富な財的援助が如何に革命運動に貢獻したかを知るに足るべく又蔣介石の國民政府は各種代表會議に華僑の參加を認めて參政權を附與し、彼等の歡心を求め、懷柔に努め以つて内政外交にその實力を利用したことは云ふまでもなく、近代支那に於いて最も華々しい外交官として巴里、ジュネーブに活躍した顧維鈞大使の政治的外交的活動資金は彼の岳父である爪哇在住の一華僑の財的援助によつたのは周知のことである。

敍上の如く彼等は本國政治に少からざる關心を持ち日貨排斥、國貨提唱等の運動にまで參加協力するに至つてる、がこの關心は彼等の國家觀念からでなく、全く支那民族特有の同族愛から來るものと觀るべきで、その趣を異にしてゐるやうに觀られるが(現今は多少元來彼等は所謂「世界の雜草」として移住、安居樂業してゐるだけに政治的野心も希望もある筈もなく只管自分一個の經濟的活動に營々たるのが彼等の眞意で、彼等は如何にしてより安價な輸入商品を買ふか、如何にしてより高價に輸出商品を賣捌くかといふビジネスオンリーが彼等の念願であり、本音であつて輸入品が何れの國の商品であるか、輸出商品の買手が何れの個人であるかは問ふところではないのである、この點わが對南洋華僑策樹立上見逃し得ざるものの一つである。

商況欄 十二日前場

海外經濟電報

倫敦金塊 七磅三志四片二分一
紐育金塊 三五弗〇〇
倫敦銀塊 一九片一六分七
同先物 一九片一六分五
紐育銀塊 四二仙四分三
孟買銀塊 五一留比六分三

▲紐育株式
スチール株 五八弗二分一
アナゴンダ株 三四弗二分一

▲市俄古小麥
九月限 六二仙四分一
十二月限 六四仙八分三
五月限 六七仙八分一

外國爲替

米英爲替 四弗八七仙一六分三
米巴爲替 二仙八七五仙
米支爲替 一六弗四五仙
英日爲替 一志二片〇〇
英支爲替 八片四分一
英佛爲替 一七八法郎七五
印日爲替 七八留比八分五

▲滿洲中銀爲替
紐育向 二八弗一六分七
倫敦向 一志二片〇〇

阪神爲替

對米賣 二八弗一六分七
對米買 [illegible]
對英賣 一志二片
對英買 [illegible]

各地株式市況

▲東京株式(短期)

銘柄	寄付	大引
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]
洋新	[illegible]	[illegible]
日[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
電工	[illegible]	[illegible]
東電	[illegible]	[illegible]
日鐵	[illegible]	[illegible]
滿新	[illegible]	[illegible]
日曹	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式(短期)

銘柄	寄付	大引
大新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
新紡	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
日[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲大連株式(短期)

銘柄	寄付	大引
五新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸 [illegible]
▲大阪棉花 [illegible]
▲大阪人絹 [illegible]
▲大阪期米 [illegible]
▲橫濱生糸 [illegible]

各地特產市況

▲新京 [illegible]
▲大連 [illegible]

戰時小說 敵前銃後

山岡弘 作 木原芳樹 畫 (無斷上演禁)

愛妻を背に(五) (百五)

『こいつ、こゝまで圖々しいんだらう』

『そら、例の『トーチカ心臟』つて奴さ』

下士仲間がガヤ〱と藤井の周圍に集まつて來た。

『藤井はなア、他人の寫眞ばかり見やがつて、自分の女房の寫眞はちつとも見せない癖に、眞面目な顏をして女房のお蔭だなんて云ふんだから、一つ、一番乘りの祝にみんなでとつちめてやらうぢやアないか』

一人がそう云つて藤井の背嚢を探し出した。

『これだ〱、藤井の背嚢はこれだ』

『これだ。これが藤井のだ』

二三人がバラ〱と駈つけると、藤井はあわてゝその後を追つた。

『よせ、おい、女房の寫眞なんかもつてるもんか』

『今更卑怯な事を云つて誤魔化さうと思つても駄目だ〱昨日背嚢の中に女房を背負つてると確に云つたぢやアないか』

そう云つたのは、その前夜折縣城の城壁を睨みながら、明日の一番乘りを揚言した藤井の話相手になつてゐた同僚の伍長であつた。

『アッ、駄目だ、それをあけないでくれ』

藤井は一生懸命に自分の背嚢を奪ひ返さうとしたが、多勢に不勢ではかなはなかつた。

『そら、押へてるから今のうちに早く……』

二三人が藤井を抱き止めて押へてゐる間に、他の二三人は藤井の背嚢を開いた。

だが、そこには格別寫眞らしいものは見えず、唯、小さい白い桐の箱の白木綿に包まれたのが、一つだけ人目をひいた。

『何んだ、これは』

『それが寫眞だらう』

『イヤに大切にしてやがる』

白木綿の包みをさきにかゝる戰友を

『おい、みんな、頼むから、それをあけてくれるな』

藤井の聲は、その時、むしろ悲愴な響きさへ帶びてゐたけれども、興に乘じた一同は、そんな事には耳をかさない、さう〱樅[?]の蓋をさつてしまつた。

途端に

『アッ！』

と、二三人が殆ど同時に叫んで、何か異常な緊張がサッと、あたりを包んだ。

『何んだ〱！』

バラ〱と、藤井を押へてゐた連中も駈寄る、そして、彼等も亦、ハッと聲を呑んでしまつた。

桐箱の中には眞ッ白に綿が敷きつめてあつた。そして、その綿の上に置かれてゐるのは、一目でそれと判る人骨の幾片かであつたのだ。

『そうか、それでは、藤井、お前の、背中の女房と云ふのは、これだつたのか……』

一人が悵然として云ふ

『すまなかつた、許してくれ……』

『勘辨しろよ、藤井』

一同は、早速桐箱の蓋を閉ぢて背嚢の上に置くと、節くれ立つた手を合掌して、殊勝にも、禮拜をするのであつた。

それは嚴肅な幾秒かであつた。

『ぢやア、藤井、お前のかみさんは死んでるのか』

『うん、俺が出征する間際に死んだんだ、俺はその息を引取るのを見てやつて來たんだ俺は、その時、心の中で女房に誓つた、きつさ、きつさ偉い手柄を立てる！さな、それで、骨を軍事郵便で送つて貰つた、いつも背中に負つて女房と二人で二人前の積りで戰つてゐたんだ』

肅としてあたりには全く聲がなかつた。

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用（3）三三二〇 營業局專用（3）三二〇五

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越内之介

けふ上海聖戰一周年
全滿一齊に記念祝賀行事

昨年八月十三日帝國海軍が始めて陸戰隊を掩護し乍ら上海に猛撃を敢行し日支戰局に一大轉機を劃した一周年記念日はけふ廻つて來た、この日中支では中國更生記念日と定め南京を中心に式典を擧行し過去の誤れる抗日運動を反省し更生中國の前途を祝福する大々的國民運動が擧行せられるが、滿洲國でもこの意義深き日を迎へて協和會が中心となり全國的祝賀行事が行はれる、國都新京では滿拓、滿炭、市公署地籍整理局、中央通協和會五分會共同主催の下に午後八時から西公園忠魂碑前で「上海聖戰一周年想ひ出の夕」を催し、ブラスバンドの吹奏樂、新京音樂協會合唱團の合唱の後駐滿海軍部村井少佐の講演「當時の思ひ出」のほか海軍製作記錄映畫「海の護り」を上映、聖戰既に一ケ年再び當時を想起して時局市民の覺悟を新らたにすることゝなつた、尙雨天の場合會場は新京商業講堂に變更される

代谷參謀長講演

今次支那事變に於て帝國海軍が最初に戰端を開いたのは昭和十二年八月十三日上海の大攻撃である、新京ではこの日を記念して陣歿將兵の靈を慰め第一線海軍將兵の武運長久を祈るため協和會主催で〃海軍の夕〃を催すが、滿洲國海軍部では午前十一時から駐滿海軍部參謀長代谷大佐を聘して事變以來海軍の活躍につき講演を開くことになつた

上海の大慰靈祭
嚴戒下に嚴肅執行

【上海十三日發國通】上海戰勃發より一周年八月十三日の血の記念日は敵の牙城漢口陷落を目睫に控へ緊張のうちに迎へられた、この日虹口中部小學校々庭は租界警備に身をもつて楯となり防塞となつて散つた陸戰隊將士を始め幾多護國の英靈を祀る祭壇が設けられ午前八時甘濃民團長司祭のもとに三萬の居留民は靈前に額き嚴肅なる大慰靈祭が執行され、一方八・一三日を目指して租界内外暴動の情報に數日來半ば戒嚴狀態となり嚴重な警戒を續けて來た佛、共同租界は十三日早朝から全くの戒嚴令下におかれた、街角に築かれた土嚢陣地、租界境界線一帶から主要道路各所に張り廻はされた鐵條網、工部局はじめ各國駐屯軍警備隊は銃劍、鐵兜物々しく武裝を固めて全員出動、裝甲自動車、タンク等は南京路からバンドへの繁華な大通の警戒に練り歩き戰慄を秘めて水も漏さぬ警戒に事變勃發當時のあの物凄い緊張振りを再現した

宍戸陸戰隊司令官談

【上海十三日發國通】上海戰勃發一周年に際し宍戸陸戰隊司令官は左の如き談話を發表した

上海方面における戰鬪の火蓋が切つて落された本日の意義深き記念日を迎へ現地においてゝ當方面を發端として進展せる戰果擴充の任務に從事しつゝ當方面を發端として進展せる中支方面戰線の今日を思ひ、ます〳〵强化せられることゝ實に一千百餘機敵空軍をして再建活動の餘地なからしめてゐる、海上部隊は支那沿岸全線にわたり極めて困難にして地味なる交通遮斷に從事する一方陸軍と協力し上陸作戰、遡江作戰に從事し既に武漢三鎭防禦の要衝たる九江をわが手中に收めるに至つたかくの如く未だ靑史に見ざるところの赫々たる成果を收めつゝある所以のものはこれ大元帥陛下の御稜威によるもので誠に感激に堪へぬところである、大元帥陛下の

御稜威

を頭に戴き外に陸海軍將兵の勇戰奮鬪と内國民の異常なる努力とが兩々相俟つて今日の結果を齎したもので第一線にあるわれ〳〵としては國民各位の熱誠なる御努力御支援に對し感謝の言葉もない次第である、同時に不幸敵彈に斃れ國に殉じたる幾多の忠勇なる將兵に對しては誠に哀惜に堪へないところで、今更ながらその英靈に對し追慕の念已み難きものあると共に御遺族の方々に對して衷心より敬弔の意を表したい、茲に上海事變一周年を回顧し、いよ〳〵粉骨碎心部下將兵と共に出師の目的達成に邁進する覺悟を一層固める次第である

つゝある銃後の現狀を顧みるに過去一年間における

國民の

努力とその成果は如何に偉大なるかを知り眞に驚嘆のほかないのである、一死報國當方面戰線の花と散り逝きし幾多の勇士の英靈これをもつて慰るに足るものと信ずる、自分は軍務を當地に奉ずることゝなつたのは本年四月であつて當方面の戰火去りてより半歳のゝちである、從つて砲火相見る所謂聖戰の勞苦なるものを直接この地に於て味はふことは出來なかつたのであるが、今日迄の勤務により國際都市上海の警備任務が如何なるものであるかは大略これを知り得たと思ふ、あさはかながらこの體驗よりして

昨年の今月今日いよ〳〵砲火を開くまでの大川内前司令官の意中、さらにその上にあつて全軍を統率せられし長谷川前司令長官の並々ならぬ御苦心の程は唯々深くお察し申上げる次第である、不法極まる支那軍の露骨なる挑戰的態度を目前に眺めつゝ事件不擴大の帝國の大方針を體し隱忍に隱忍を重ね來り遂に暴戾なる彼の砲撃開始を見るに及び斷乎として應戰反撃を加へ寡兵よく衆敵を制壓してその出鼻に一大痛撃を加へたのであつて此起き上りの一撃が敵に如何に痛手でありまたその後の彼の作戰に如何に影響したか想像に難くないのである、今や水陸並び進みつゝある我遡江作戰は皇軍大勝利の下に着々と進展せられ、近くは

九江の

攻略により敵が牙城とたのむ漢口の運命も風前の燈火に等しい、わが陸戰隊はこの重大なる作戰に呼應し友軍陸軍部隊と協力して益々上海の護りを固くし中支方面明朗化の源泉、勝利の確保とその復興發展とを期し最善の努力を致してゐるのである、今日の意義深き記念日を迎へ開戰當初に於る現地幹部の苦心と我軍奮戰の跡を偲びかくして確保し得たる當市上海を警備する我等が任務の如何に重大なるかを痛感するの念新たなるを覺え一層の奮勵を期する次第である

上海特別陸戰隊司令官　宍戸好信

武漢三鎭に又急襲
敵軍事施設木ッ葉微塵

【〇〇基地十二日發國通】十二日早朝わが海の荒鷲大空襲部隊は驟雲を衝いて突如武漢三鎭を急襲、漢口においては軍事施設、防禦陣地、鐵道、軍需品集積地域に完膚なきまでに爆撃を加へ、また宜昌、武昌の各軍事施設を粉碎、敵必死の高角砲を尻目に全機悠々〇〇基地に歸還した▼【上海十二日發國通】十二日朝行はれたわが海の荒鷲大部隊により敢行された漢口大空襲は空前の猛烈なもので〇トンに及ぶ爆彈の雨に天地鳴動武漢三鎭は完全にわが荒鷲部隊の翼下に制壓された、外人側情報の傳へるところによれば、わが空襲部隊は武昌の粤漢鐵道終點驛上空に近接先づ〇〇機による數十機は見事な急降下爆撃を行ひ續いて〇〇機數十機編隊のまゝ同驛上空から爆彈の雨を降らせこれを跡方なきまでに粉碎、ついで同部隊は揚子江上空を横切り悠々漢口に至り同市の飛行場に徹底的猛爆を加へ凱歌をあげて堂々歸途についたが、連日のわが大猛爆に漢口は全く生氣を失ひ軍民ともに不安と絶望のどん底に追ひこめられたといはれる

手榴彈事件頻々
何れも日本人を狙ふ

【上海十二日發國通】上海事變勃發の八月十三日の一周年記念日を前にして上海全市が半戒嚴狀態にある十二日早朝俄然工部局警察及び義勇隊警備隊總動員の嚴重なる警戒を尻目に共同租界、工部局警察警備區域各所に手榴彈投擲事件が發生した、犯人は何れも逸早く逃走したが事件は總べて日本人目當てのものでわが軍警當局は嚴重成行きを監視してゐる、即ち

一、午前六時頃西部ロビンソン路日華紡工場に手榴彈が投ぜられ職工交替時間の折柄とて支那人職工二名即死ほか二名重輕傷を負つた

二、午前五時五十五分頃愚園路工部局警察日本人職員官舍に向け道路上より手榴彈投ぜられ中庭で炸裂したが幸ひに被害はなかつた

三、午前五時半頃厦門路土木建築請負業米澤洋行事務所構内に手榴彈三個投入されたが事務所のガラス窓を破壞しただけであつた

中南支猛爆撃

【上海十二日發國通】十二日正午艦隊報道部發表

▲中支方面　海軍航空隊は十一日漢口大空襲を決行せるが、更に他の部隊は黄石港下流地區に於て軍事行動に從事せる戎克十隻を爆撃々沈、附近陸上に格納せる火工品を炎上せしめたり、また他の航空部隊は池州方面揚子江岸敵陣地及び軍需品格納所を爆撃これに潰滅的損害を與へたり

▲南支方面　海軍航空隊は十一日左記を攻撃せり

一、梧州（イ）硫酸工場は十瓩彈の命中により瞬時にして白煙全工場を蔽へり（ロ）製彈所は命中彈により一部炎上す

二、高要飛行場格納庫及び滑走路を爆破す

三、粤漢鐵道（イ）銀盞大鐵橋は橋脚破壞、線路落下により使用不可能となれり（ロ）黎洞驛は構内爆破炎上す（ハ）源潭、浬江口間鐵路八箇所を切斷す

四、廣九鐵道樟木頭附近鐵橋の一部を爆破す

囚人も動員
武漢防備に躍起

【上海十二日發國通】曩に武漢三鎭の勞働者、一般民衆の武裝計畫を決定した漢口衞戍司令部ではわが軍の漢口攻略の態勢が着々と進展してゐるのに狼狽し十二日男子勞働者五百名、女子勞働者二百名を選び武漢防衞のため銃をとるべく下令した、これは第一自衞團とし右のほかに更に工場勞働者、人力車夫も武裝させる筈であるが、驚くべき事は武漢三鎭の監獄を一齊に開放し囚人に武器を與へて防衞の第一線に立たしめるべく準備を進めてゐる、これらの民衆動員は武漢死守、焦土抗戰を叫んで國民政府をひきづりつゝある共産黨がその最も得意とする民衆武裝の戰術を着々實行に移したものであるが、なほ武漢難民は奥地へ避難するにも交通費もない始末で軍事當局では武漢にある日本人財産を沒收しこれを賣却して得た金をこれら難民に分け與へるといふ貼紙を掲げ難民撤退に狂奔してゐる

決意を語る
及川司令長官

【〇〇十三日發國通】中支方面に事變が波及して茲に一年この記念すべき日を迎へた及川支那方面艦隊司令長官は出雲艦上において左の如く力強き長期戰の決意を語つた

顧れば、事變勃發以來帝國はこれが擴大せぬやう凡ゆる努力と苦心をしたにも拘らず事態は次第に逼迫を告げるに至つた、幸ひにして軍官民一致協力よく大局を誤らず全邦人引揚げといふ未曾有の難事業を見事に爲し遂げたことは特筆に値することゝ思ふ、上海に戰端開かれるや海軍陸戰隊は

數十倍

に餘る大軍を迎へ沈勇よく敵を制壓し陸軍部隊到着するや之と密接なる共同の下に勇猛果敢なる進撃をなし上海附近の頑敵を驅逐し帝國海軍陸戰隊の眞價を中外に顯揚した、我海軍航空隊は劈頭の渡洋空爆以來攻撃に次ぐに攻撃をもつてし、今や支那全土の要衝を席卷し敵機を撃墜す

重光・リトヴィノフ第三次會談内容
外務省發表

【東京國通】張鼓峰問題は十日午後の重光、リトヴィノフ第三次會談により停戰協定成立し一應解決を見たが、外務省では十二日午後五時右會談内容を左の如く發表した

重光大使　前回會談の内容は政府に報告した、たゞ最後に貴方提案として述べられた點、即ち『若しソ聯邦が一定の線を越えて越境しないこと及び射撃しないことを約するにおいては軍事行動を停止することに同意する、もし協定成立のとき何れか一方が右の線を越えて越境してゐる場合は直ちに後退せしめることを要す右の線とは琿春界約による地圖の上に引かれた線である、換言すれば七月廿九日まで、すなはち闘爭開始までに存在した軍隊の常態を回復することを要する、國境に於る靜ヒツ回復後問題の地域の國境再劃定に着手することゝする』云々とあるが、右は彼我兩軍相對峙してゐる狀態を解除するため兩軍の戰鬪行爲を中止し右の線の双方に互ひに後退し且つ再びこれに接近しないことを約束する意味であるか、なほ貴方は國境靜ヒツ回復した後國境再劃定に着手するといはれるが、軍隊相對峙してゐる事は危險至極である、よつて戰鬪行爲をやめた後これに着手することに同意せられるものと解して差支へないか

リ委員　只今貴使の述べられたところは前回自分の述べたところに完全に一致する、但し自分は貴使が附言せられたやうな趣旨で話したのではない、自分は琿春界約の線を認めこれを越える事もなければこれを越えて射撃することもあつてはならないと述べたのみでその線より後退するとはいつてをらない、しかし日本側において後退することは結構である、ソ側は事件前にも同地方に留つてゐたが、自分等は滿洲國に向つて射撃したことはない、他方より射撃しなければこれに應へない、問題の國境は「デマルケーション」でなく「リデマケーション」をなすものである、この點多少の差がある

重光大使　貴方は國境劃定に異存はないやうであるが、問題の線の兩側に双方の軍隊が對立してをつてはそれも不可能であるから自分の案はこの狀態を解除する考案につき貴意を伺ひたい、すなはち琿春界約によるソ側主張の線の兩側へ、例へば一キロの距離を空けて双方の軍隊を後退せしめることゝし靜ヒツを取戻した後國境劃定に着手することにつき御異議があるか

リ委員　前回も申上げた通りソ側軍隊の後退には反對である、ソ側領土のことであるからソ兵はその領する所に駐兵する權利あり、ソ側は滿側に向つて攻撃したことなく、またしないからソ兵のゐることは國境劃定の妨害となることはないであらうとて前說を繰返した

重光大使　ソ兵がソ聯領地に駐兵し得ることは勿論で、右は日本側についても同樣である、たゞ双方の軍隊が互ひに睨み合つてゐる狀態のまゝ國境劃定をなすことは不可能であるから右劃定終了まで一時の便法として右睨み合ひの狀態を解除することが最も實際的だと考へられる、すなはち双方が小銃の射程距離外にあるやう双方一キロ位の間隔を置いて戰鬪行爲を停止し國境劃定を行ふことを提議するものである、この不幸な出來事を平和的に解決しようとするわが方の熱烈な希望である、また戰鬪行爲停止の細目については現地において兩軍代表者間に取極めるを可とする

リ委員　日本兵が日本側が滿領なりと主張する占領地點より後退し右協定内地帶には双方立入らないことには同意であるが、わが方はソ領内にあるソ兵を外國の要求により撤退する事は出來ない、右は別として戰鬪行爲の停止には同意するにつき八月十一日正午（沿海州地方時）あらゆる戰鬪行爲を停止することを命ずることゝしては如何、なほ國境劃定委員會についても右停戰協定と同時に協定する必要があるであらう

重光大使　停戰協定の實行は現地において兩軍の代表者の間に行ふことが必要である

リ委員　協定は自分との間につくれば十分で現地の軍代表云々は必要でない

重光大使　たゞ實際問題として現地において何等誤解なきやう又豫期しないやうな双方との發生しないやう現地において打合せをなすことが必要であると考へる

リ委員　それに異存はないつぎに國境劃定委員會のことであるが、右委員會の仕事を效果的にするためには第三國人を入れなければならない、すなはちソ側代表二名、日滿二名合せて四名外國の仲裁者一名をもつて交渉すべきである、勿論仲裁者は双方合意のものとする

重光大使　それは全然新しい問題でこの際提議するのは問題を徒らに複雜化し停戰に關する話し合をむやみに永延かせるだけであるが故にこの點は貴方において撤回されんことを希望する

リ委員　なほ國境委員會のことについてその事業の基礎として支那及び帝政ロシアの代表者が署名した條約提示などを基礎とたすことが必要であると思考する

重光大使　只今いはれた國境とは係爭地であるか、張鼓峰方面の國境を示すのであるか、なほ條約提示などは固より之を委員會において審議するに異存ないが右以外日滿側の有する資料を審査する事が必要である

リ委員　劃定せんとする國境はもとより貴說の如き問題ではなく係爭地區に關するものである、しかして國境は當事國間の條約によつて決定されるものでその以外に如何なる材料を考慮に入れる事も諒解に苦しむものである

重光大使　資料中において最も參考とする條件に異存はないが、條約以外の實際上の問題（標識、境界の石）に關する資料を集め委員會において審議すべきものと考へられる、わが方として條約上の價値を輕減しやうとするものではない、即ち條約の主なる材料その他の材料も排斥すべきものではないといふわが方の主張である

リ委員　條約に矛盾しない材料は考慮して差支へないが、條約と矛盾する場合は條約に必要な決定權を有すべきものである、時に停戰取決めについては本日午後十二時の狀態にて戰鬪を停止しようとする次第であるからなるべく早く決定したい

重光大使　停戰協定の必要はいま一應研究の上二時間内には確定し得べし、なほ他の問題には政府に報告の必要もあり直ちに回答出來ない

右にて午後九時半一旦會談を終つた、その後若干の經緯があつた後つぎの趣旨の如き協定が成立した

（一）日ソ兩軍は八月十一日正午（沿海州地方時）總ての戰鬪行爲を停止する（二）日ソ兩軍は十一日午前零時現在の線を維持する（三）右協定の實行は現地における双方軍隊代表者においてこれを行ふ

なほ國境委員會の問題については重光大使より滿洲國側より日本一名、滿洲國一名の代表者とすることには贊成するが第三國人を入れることには贊成出來ない旨明白に述べた

今後の問題處理には
飽まで公正態度
滿洲國外務局見解

張鼓峰事件は重光、リトヴィノフ會見により停戰協定が成立したが、右に對する滿洲國外務局の見解は左の通りである

十日午後十時（モスクワ時間）モスクワに於て重光日本大使とリトヴィノフソ聯外務人民委員との間に張鼓峰事件に關する停戰の話合が成立した由であるが、事件發生以來その急速且つ平和的解決に努めてきた滿洲國當局としてはおそまきながらもソ側が日滿側の提議してきたところを受諾したことは結構であると思ふ、今後の問題として張鼓峰方面國境の平和維持の問題及び之に關聯して同方面の國境確定問題が殘されるが、わが方は之に關しても飽くまで正々堂々たる態度で問題の處理に當るべきこと言を俟たない

人事往來

▲北村録四郎氏（富士電機）十二日來京ヤマトホテル
▲日下部滋氏（官吏）同
▲松崎宗次郎氏（朝鮮旅行案内社）同國都ホテル
▲立脇耕一氏（滿洲電線）同
▲市川隼人氏（同）同
▲奥野榮一氏（同）同
▲池本喜三夫氏（鐘紡）同中央ホテル

偶語

帝國無敵海軍が暴戾支那軍膺懲の巨彈をぶつ放して丁度一年になる▼其間纜續が全支那沿岸交通遮斷、揚子江遡江攻略を行へば海の荒鷲は支那四百餘州を翼下に慴伏して終つた▼赫々たる武勳を知らぬ顏に沈默を守つてゐた荒鷲が始めて語る空中戰に今更血沸き血躍るを覺へる▼或る者は百十一回、或者は百四回九十六回、八十九回、八十七回の空襲を行ひ八十回以下に至つては問題にしてゐない▼實に壯烈鬼神もなかしむとはこのことで空の子たちは空中散華となる事を天譽を完うしたものとして常に光榮且つ滿足に思つてゐるといつてゐる▼一方戰鬪員の椽の下の力持ちの仕事をやつてゐる航空技術關係者と地上警備員の隱れたる功績は見逃せない▼聖戰以來一年の間に機械の故障で不時着したり空中戰の最中機關銃の故障を起した事は一度もないといふに於てはこれまた世界に類例ないことだ▼われ〳〵は今日海軍聖戰開始一周年を迎へ戰歿將兵の英靈に衷心感謝を捧げると共に艦上空中將兵の武運長久を祈ることを忘れてはならぬ

社説　英國の現實主義外交

漢口の陷落を目前に控えて英國駐支大使カー氏は上海と漢口の間を頻繁に往復した。英國が取りつゝある極東外交の現狀は一口に現實主義外交と呼ばれてゐる。しかしその實は名を棄てゝ實利を逐ふ算盤外交で實利主義の外交と稱した方が適切であらう。尤も英國は必ずしも事變當初からその極東外交に現實主義をとつてゐたわけではない。掛くとも皇軍の上海完全占領までは露骨な反日援支政策の連續であつた。その反日政策の基本をなすものは日本の力量に對する過少評價と同時に蔣のそれに對する過大視の錯誤であつた。英國の反日外交を轉換せしめたものは、皇軍の赫々たる戰果の擴大に外ならぬ力であつた。しかし今世紀に入つては英國の對支貿易及び支那沿海における英國の航業及び其他の英國の經濟的活動が次第に減退して來たのであつた。しかもこの事實は漢口陷落を前にして愈よ切實となるに至つた。支那における英國の投資はこれを地域的に見れば揚子江流域以南の地を主として居り又政府債務の相手は國民政府である。漢口進擊作戰の進展はこの英國の投資地域を戰場と化し債務者をして破産に瀕せしめんとしてゐる。英國としては權益の擁護に焦慮せざるを得ぬのである。

十九世紀においては英國は支那における最重要な外國勢力であつた。

英國が極東時局の歸趨に對していかなる見透しをつけてゐるかは、英國の極東外交の動向を卜する基礎となるが、その大略は、日本軍の漢口占領によつて國民政府は支那大陸支配の中心關節を失ひ黨軍はもはや組織的な對日決戰能力を失ふこととなる。そして國民黨軍退却後の北支及び揚子江沿岸諸地域においては親日政權が日本側の協力と庇護の下に治安の維持と諸建設に當ることとならう。結局支那には北、中支那の親日政權と西方及び西南を地盤とする抗日政權の對峙狀況が現出するであらうと解してゐると察せられる。すなはち英國投資、權益の背景はこの對峙する二つの政權に跨つて居り此處にこれが擁護方策に苦悶がある斯くして窮餘の末、蔣政權援助を續けて自國の權益を保持するとゝもに、揚子江流域及び北支の權益については日本側と折衝を續け該地域の自國權益の減退を最少限度に喰ひ止めやうとしてゐるのである一方では日本と折衝しながら蔣との聯絡を續けてゐる所以であゝ。また一方には中、北支で失ふであらうところを西南で取戻すために新なる權益の獲得に狂奔するであらうことも推測出來るのである。まさにこれより展開される事態のうちに英國の現實主義外交の眞實の姿が明白に表明されて來るであらう。

現地防衛當局の大局的隱忍自重
◇……日ソの重大危機を脫す

【雄基國通坂下特派員發】執拗なソ聯軍の逆襲と空軍の出動によつて一時擴大を

豫想

された國境事件は停戰協定の成立によつて重大危機を脫した現地わが防衛部隊の大局的隱忍自重こそ事態を玆に導いたその唯一且つ絕對的なものであり時に光輝ある皇軍の靑史に輝く一頁を附加したといへよう顧れば七月十二日のソ聯兵張鼓峰不法占據よりわが防衛部隊は戰火を避けんとして凡ゆる努力をなしたが、同二十九日の沙草峰事件のため遂に兩軍戰鬪を交へるの悲しむべき事態を誘發した、かくてソ聯軍は一日に至り空軍を出動せしめ爾來空陸の立體攻擊をもつて張鼓峰、沙草峰を奪回せんと猛逆襲し來つたが防衛部隊は司令官以下一糸亂れぬ作戰をもつてわれに數倍する敵を邀へ擊ち一歩も讓らず逆襲の都度その企圖を挫折せしめ張鼓峰、沙草峰、五二高地等の國境線を死守したことは世界平和の大目的のため飽迄事件を局地的に終始せしめんとした日本國民の大乘的態度を

示唆

するものに外ならず特に事態を玆まで導いた皇軍部隊の善鬪こそ絕讃に値すべきである

中銀のお引つ越し

中銀では十五日より愈よ新總行で營業を開始することとなつたので六日から裂式工餞日か引越しに取掛つてゐるが何分滿洲の金庫を預る大世帶なので一日數十臺のトラツクは新舊兩行の間を往復し行員は大童の態であるる【寫眞は引越風景】

滿鐵刀の改良を計畫

滿鐵大連鐵道工場で製作されてゐる日下純鐵滿鐵刀についてはすでに昭和正宗として各方面の絕讃を博してゐるが同工場では滿鐵刀を更に優秀なものとするためわが國日本刀の最高權威東京帝大名譽敎授俵國一博士の門下生岩崎航介氏をこのほど同工場に招聘し滿鐵刀について更に研究を重ねてゐる、同氏は滿鐵刀の優秀さには驚いてをり更に滿鐵刀の刀身の幅、刀身のそり味加減、純鐵との關係その他につき研究を進め滿鐵刀を所謂日本古刀の型にまで改良するため近く一旦歸京、俵博士のもとで研究を進めその改善に努力することゝなつたが滿鐵刀の大量生產計畫の進捗とゝもに滿鐵刀の改良は時節柄非常な期待をもたれてゐるなほ滿鐵では本年度から廿五年勤續者の表彰記念品として滿鐵刀を贈呈することゝなつてゐるが、この記念滿鐵刀についても岩崎氏の手により鞘ならびに佩付を委囑して更に立派な滿鐵刀とすることになつた

武漢防衛問題で共產黨の主張勝つ

【香港十一日發國通】武漢防衛問題をめぐつて國民黨と共產黨との軋轢が傳へられる折柄、十日廣東に到着した共產黨第八路軍の一將校は目下の共產軍の活躍狀態につき次のやうに談話をなした

國防に關する國民黨と共產黨との軋轢は共產黨の主張通りとなつて解決した、中央軍が漢口防衛を放棄して西南に撤退するならば八路軍は單獨でもこれが防衛に當る、われ〳〵は今や南潯鐵道を第一防禦線としてこゝに續々兵力を集めてゐる

捕虜暴れる

【上海十一日發國通】八・一三記念日を目前に控へ上海市內は恰かも戰時狀態に等しき嚴戒と緊張に包まれてゐる折柄、十一日正午共同租界西部境界に近き膠州路捕虜收容所の支那敗殘捕虜約三百名は突如靑天白日旗を旗竿高く揭げて暴動を惹起した、素破ッとばかり工部局警官隊、ロシア人義勇隊及び裝甲隊は現場に馳けつけ鎭壓に努めたが捕虜はビール壜その他器物を投げて抵抗し義勇隊は二、三名の負傷者を出したのでやむなく棍棒をもつて暴徒を防ぎ一時間にわたりもみ拔いたのち漸く鎭壓した、右暴徒は昨年八月十日の閘北戰最後の激戰地たる四行倉庫に踏み止まつて抵抗、租界遁入の際武裝解除され收容されたもので抗日意識最も熾烈な分子である、暴動鎭壓の際暴徒十五名は重傷をうけて病院に運ばれ他の五十五名も輕傷を受けた

上海に東洋一の動物園出現

【名古屋國通】復興上海市にこの度東洋一の大動物園建設計畫が樹てられ、目下現地に在つて都市計畫事業を進めてゐる東京府都市計畫課技師石川榮耀氏から最近名古屋市が東洋一を誇る東山動物園の建設に關する資料の提供方を北王園長の許に依賴して來たので早速諸般の材料を取纏め發送したが、或は上海に北王園長が乘出して同地の動物園建設に助力するやうになるかも知れぬとみられてゐる

頭部用蚊帳を海軍省に獻納

【東京國通】前線の將兵が惱まされるのは敵軍以上に蚊の大軍だ、勇敢なる皇軍將兵を蚊軍から防げと十一日午後日滿帝國婦人會常務理事西尾好子さんが海軍省恤兵係りを訪れて頭部用蚊帳百枚を獻納した、この蚊帳は麻製で御叮嚀に目玉までついてゐる立派なもの、このほかハンカチ百枚も獻納、これは名古屋の百一歲翁伊藤東一郎氏の千人力と書いたものや同會々長武藤のぶ子刀自の和歌など水莖の跡も美はしく書かれたもの等である

ソ聯本年度豫算

【モスクワ十日發國通】ズヴレフ財務人民委員は十日の第二回ソヴイエト最高會議の聯邦民族合同會議に一九三八年度豫算を提出したが、豫算總額は歲入一千二百七十億ルーブルに對し歲出は一千二百卅七億ルーブル、そのうち陸海軍事費は二百七十億ルーブルを占めてゐる

【モスクワ十日發國通】ソ聯の一九三八年度豫算內容次の通り（單位百萬ルーブル）

歲入總額一二七、〇〇〇、歲出總額一二三、七〇〇【內譯】國家經濟費四七、八〇〇、文化社會事業費三一、〇〇〇、內務人民委員部費四、三〇〇、國防工業費七、五〇〇、陸海軍事費二七、〇〇〇

陸海軍二百七十億ルーブルは昨年度の二百一億ルーブルに比し七十億即ち約三分ノ一の激增を示してをり、しかもこれは國防工業費七十五億ルーブルを包含せぬ直接陸海軍事費の增加である點注目される

訪日經濟使節團ム首相に復命

【ローマ十日發國通】日滿伊經濟提携促進の輝かしい使命を果して先頃イタリーに歸つた日滿訪問經濟使節團エツトレ・コンテイ伯一行は十日ベネチア宮にムツソリーニ首相を訪問一行の活動について詳細に復命した、これに對しム首相は使節團一行が日本、滿洲イタリー通商協定の締結のために努力した勞を多とし感謝の言葉をもつて一行を犒たつ

旅客列車顚覆

【北京十二日發國通】十日午前八時北京發第二〇一號石莊行旅客列車が午後四時定縣間に南方淸風店、定縣間にさしかゝるや轟然たる音響と共に機關車、手荷物車、三輛顚覆、死者十二、負傷者卅五を出した、急報に接し北京、石家莊より救援隊が急行し復舊に努め十一日午前中に復舊した、邦人遭難者左の如し

▲即死　滿鐵社員靑野勝藏（山形縣）

▲負傷　技師丸德年、井口留玉縣）下山虎作（埼玉縣）淸田ミヨ（神奈川縣）重島武二（石家莊）

滿洲採金會社を鑛山會社に合併
全滿の採金事業を一元化

政府では產金積極化を圖るため產金獎勵金を交付するとゝもに鑛業開發會社の改組に伴行して滿洲採金□社を滿洲鑛山會社に合併することに方針を決定した、滿業、東拓所有の同社株は政府に於て肩替りをなし、舊吉黑兩省に於ける金の鑛業權は鑛業開發に移管されることゝなつたが、鑛山會社が過般採金會社より移讓を受けた間島省における採金事業が成績良好なため一元的な採金事業の實施は極めて適切であり從つて採金會社の合併は遂に會社への合併は當然に實現するものとみられるなほ採金會社□

同社理事長は近く日本に設立される帝國產金會社の副總裁に就任するに內定、小須田理事は鑛山會社理事に就任するものとみられてゐる

北滿經調委員近く正式發令

過般新京で開催された重役會議において滿鐵では新京支社內に北滿經濟調查委員會を設置愈々北滿開發に着手するに決定したが同委員會の構成は委員長平島理事、副委員長には山口總局次長、古山新京支社次長、宮本調查部次長の三名、委員には本社調查部調查役、各鐵道局長、北滿經調新京支社業務課員等二十數名が

五ケ年計畫を現地に視る（五）
森崎實

撫順炭田（一）

撫順が世界に誇る露天掘の威容は流石に見事なものである、滿洲を訪れる他國人が等しく驚嘆の聲を放つて沈默のまゝ立去るといふのも當然であらう、行儘みの外資問題もかうしたすばらしい問題の姿を見せたら一擧に解決するのではあるまいかとさへ思つたことだつた、私は露天掘の底を眺めながら科學の美といふか汽型美といふかそこに一種の藝術を感じた、エキスカベーターの動き電氣ショベルの間斷なき動作けこれらの創造美を一段と輝かすものである

一日の出炭量實に古城子の露天掘のみにても一萬餘噸に達しこゝ一ケ所のみで阜新が全採炭部を動員してあぐるその日產炭量の二倍に及んでゐる、世界無比の稱あるも亦當然でその剝離土砂岩石の一日の量は四萬立方米、約十萬噸に相當し一噸の出炭をなすに四噸の油母頁岩、綠色頁岩その他を剝離する譯である、現在この古城子と楊柏堡の兩露天掘とは渾河の支流楊柏堡岩によつて遮斷されてゐるが露天掘の深部採炭と製油原料たる油母頁岩の長期採掘を圖るため康德三年度より三ケ年計畫をもつてこの河流を上流において西方古城子河に切替合流せしめ兩露天掘を併合する計畫を實施中にて本年秋までには完成の豫定である、この完成によつて露天掘最終の深度は地表下三五〇米、東西の延長約七キロ、幅南北一キロの廣範圍に及び、その採炭量は一億三千萬噸、剝離物は四億五千萬立方米に達して全容量に於ては世界最大の土工を誇るパナマ運河の開鑿容量の數倍に匹敵するといふことだ、而も一年の出炭量は三百五十萬噸を算へ得、この露天掘のみにて今後約三十年の將來を持つてゐる

更に誇るべきは龍鳳竪坑、老虎臺斜坑にして、龍鳳竪坑はその設備世界一と稱せられ既に一部完成して康德三年六月より出炭を見てゐるが近く日產五千噸に及ぶべく、完成の時には露天掘のそれに等しく日產一萬噸出炭を見る豫定でその竪坑は深さ七七〇米まで掘進せんとするものである、これに對して老虎臺斜坑は康德四年度より開鑿中であるが康德九年度には完成の豫定で日產八千五百噸、斜坑の長さは第一期にて各一ケ年を超過するものである

かくの如く露天掘に於て坑內に於て流石にそのスケールは大きくその歷史とその技術の滲透は、五ケ年計畫の增產目標たる三千五百萬噸の三十％をその責任目標とするに至り、全滿炭田の現行出炭能力から見る場合には撫順のみにてよく七十％の能力を維持してゐる譯である、一日出炭二萬五千噸餘、年產額は八百萬噸（雜炭を含まず）に及び滿鐵が繼承して以來三十二年その出炭總量は實に一億三千二百萬噸に達してゐるのだ、われわれはその發展史を出炭量によつて見よう（單位千噸）

年	出炭量
明治四十年	二三三
大正元年	一、四七一
同　五年	二、〇四四
同一〇年	二、七七二
昭和元年	六、四八七
同　二年	六、九五九
同　三年	七、一九八
同　四年	七、二九三
同　五年	六、八六七
同　六年	六、一三三
同　七年	五、八五三
同　八年	七、〇六一
同　九年	七、五七二
同一〇年	七、六六七
同一一年	七、九七八
同一二年	八、二二八

明治四年の稼行開始以來途中滿洲事變による影響によつて一時出炭の減量を見たこともあるが、ひたすら躍進の方向を示してゐることを知り得る、これに雜炭一五〇萬噸を加ふるときには實に年額一千萬噸の出炭能力を見せてゐる譯だ修正前の五ケ年計畫によるものにしていさゝか古い統計ではあるが、更に對日本との比較を揭げ（單位千噸）を示せば

〇昭和十一年度

九州／北海道／常盤／其他／合計／撫順／滿炭

〇五ケ年計畫終期

九州／北海道／常盤／其他／合計／撫順／滿炭

〇未採炭量

九州／北海道／常盤／其他／合計／撫順／滿炭

〇十六年度出炭

九州／北海道／常盤／其他／合計

撫順炭

燃ゆる石、油母頁岩は撫順が石炭と共に誇るものでその分布は全炭層の上層に在り約百三十米の厚さに及び、總量に於ては五十餘億噸と稱されてゐる、露天掘に於て石炭採掘のため剝離さるゝものゝうち含油率多き部分を工業化するものであるが、大正十五年から企業的研究實驗に着手し企業

商況欄

●大連株式（短期）

銘柄	寄付
五品	一三、七〇
東新	一三五、四〇
滿業新	七二、四〇
同紡	三五、八〇
鐘新	三六、八〇
滿鐵新	三五、八〇
入新	七六、四〇
土木	[illegible]
豆新	一五、一四

●奉天株式（短期）

讀者の領分

投稿歡迎　中傷不可

防護團員の訓練を望む

日下新京特別市内を各區に分け市民に對し防護の基本訓練を實施して居るが最初日たる八月十日の狀況を觀ると防護團員の某區居住者に對する指導は『教へずに怒鳴る』と言つた狀況で、各居住者共異口同音にもう少し丁寧に指導することは出來ないものだらうか?と云ふ話で持ち切りだ新京のみならず滿洲では今年で四回目の防空演習である、特に今年は派警告の演習と云ふことゝ國境方面が活潑になつたのとで居住者も眞劍にやつて居る、又指導員も眞劍にやつて居ることではあるが、然し斯樣な場合には指導員たるものは餘程冷靜にして居なければ眞の指導が出來ない場合が往々あるのであるから、防護團員たるものには自體訓練が必要であると共に防護團員になつたものは自ら監督される立場にある居住者の氣持を十分に察して怒鳴らず教へて戴き度いものである、昨年も防護團員に對する非難の聲は相當騷がしかつた餘り防護團より叱られるので面倒だ消燈しろと云つた具合で消燈してしまふ、すると防空とは消燈することでない、燈火の屋外に漏れるのを防ぐことだと叱られるからその程度の燈火管制(所謂警戒管制)をして居るとお前の家はあまりに光があるから消せと云ふ其の怒鳴り方と云つたら親の仇見たひに怒氣を含み喧嘩の樣に言ひかゝつて來るからたまらない、怒ち感情を害して防空の眞の効果は擧らない樣に思はれる斯樣な場合には丁寧に教へて置けば、其の者は他の者に同樣に傳へることゝなり、防護團の骨折も尠なくて濟むことゝ思ふ、三年間も演習を實施して斯樣な聲を聞くとは甚だ遺憾に思ふ次第である、此の八月十日から實施して居る基本訓練は各完全なる燈火管制の徹底する樣に訓練するにあるのであるから指導員は先づ丁寧に教へることを忘れてはならない、又此の基本訓練の實施するときは市内を各區毎に分けてあるから防護團員は其の區別(行政區劃)をはつきり知つて置いて戴き度い、左樣でなければ區境界附近の居住者は訓練實施日に非ざる日に何故管制をしないかと怒鳴られ一向に徹底しない樣である、故に此の際當局に望むことは防護團員には市の行政區劃を知らしむることは勿論管制に對する訓練と民衆處遇の訓練を十分にして戴き度い(一市民防衛者)

貯蓄思想の涵養に　儲蓄債券を奬勵

十六日發賣、十一月抽籤

政府は滿洲興業銀行をして來る八月十六日より廿五日に至る十日間に第二回有奬滿洲儲蓄債券額面總額二百萬圓を發行賣出さしめることゝなつた本債券の第一回發行は本年一月行はれ常時一般の非常なる支援と人氣により豫約賣出を以て殆ど賣盡され發賣初日に直に賣出締切の好成績を擧げたのであるが、今回も亦國民貯蓄心の發露によつて前回に劣らない成績が豫想されて居る、今回の賣出條件は前回と一樣であるが其の概要は左の如くである

債券發行の目的は國民の勤儉貯蓄を奬勵すると共に廣く民間に撒布せらるゝ零細な資金を集めて滿洲國の產業特に中小商工業の開發發展を圖らしめるのであるから此の債券を買入れた者は自分の爲には貯蓄を爲し、而も國家的には產業の開發經濟の發展に寄與すると云ふ次第で協和會に於ても貯蓄奬勵の叫ばれる折柄其の國家的重要性を認め此の債券の普及に協力し國民の貯蓄思想の涵養に勵を掛けることゝなり今から前回以上の人氣を呼んで居る、此の債券は政府が滿洲興業銀行をして發行せしむるのであるから債券の信用は國債と同樣と云へる債券は全部無記名割引發行である、券面金額十圓のものを五圓で賣出すのであるから誰でも買へる大衆的投資で此の債券は賣出後三月即ち本年十一月第一回の償還抽籤を爲し當籤者は十圓償還されるから假に第一回に當籤すれば僅か四月目に五圓で買つたものが二倍になつて返つて來る譯である、また其の當籤中有奬金即ち割增金の籤に當れば左の如き割增金が得られる

△割增金附與額(額面二百萬圓に付)

等級	一個の金額	初回	二回以後毎回
一等	1,000圓	二個	四個
二等	100圓	三〇個	一〇個
三等	10圓	100個	五〇個
四等	五圓	二〇〇個	二〇〇個
計		三三二個 七,000圓	二六四個 六,五00圓

此の點元を無くさず而も償還と割增金の籤を二重に樂しめる妙味がある、買入れた債券は年々償還期に近づき五圓が十圓になりつゝあるのだから持つて居れば居る程儲蓄が出來て樂しみは增すのであるが萬一賣却せねばならぬ場合でも小額債券だから賣却が容易であり其の上此の樣な賣却者の便宜の爲には既に滿洲興業銀行の子會社として成立した滿洲興業證券會社が賣買の任に當り債券の市場性維持には充分な用意が整へられてゐる、又買入れた債券を紛失の虞ある者の爲には滿洲興業銀行が一枚三年三錢の手數料で保管を爲し金庫の役を勤めて呉れる、賣出は滿洲興業銀行本支店及び郵政局の窓口から全滿に亘つてデヴイユ!し都鄙一樣に買入の機會が與へられる買入には豫約申込の取扱があるから之を利用すれば賣切れぬ內に逸早く買入の約束が出來る、償還金及び割增金の支拂は買入人の便宜を計り賣出と同じ場所である

無敵を誇る打擊陣　タイガースの全貌

和衷協同戰線に躍る面々　(完)

△奈良友夫(內野手)(出身廣島商業)廣商時代には二壘を守り四番打者として健棒をふるつてゐた、一昨年の選拔に出場の折には本壘打賞を受け主將として四番打者としての面目を施してゐた、中學選手としてはズバ抜けてゐたが、職業團に入つてからも更に磨きをかけられて、レギュラー二壘手として少しの遜色をみぬ鮮かさ打擊もシュアーであり、守備の點も輕快確實であり、その時足はまた盜壘に妙を得てゐる、實に打、守、走、三拍子揃つて平均した典型的なプレーヤである。今春に輝妙な守備で大いに活躍しいつもながらの新鮮味を感じさせる事であらう。頭腦明晰の點も大いにたのもしい

△本堂保次(內野手)(出身日新商業)日新商業時代は主將として一壘を守り、四番の强打を誇つてゐた

大阪中等學校級稀に見るスラッガーであり、一壘の守備は外人型の鮮かなもの、守らしては松木以上の評があるが未だ球歷も若いし、打擊の點が松木に及ばぬので下積となつてゐるが、而し新人中では一、二位を占める良好さを示し先には、すばらしい名選手と成り得るであらう

體のこなしなどは非常にスムースであり、この點は職業團中でも一位と稱して過言でなく昨秋は專ら二壘を死守したが、一壘で御座れ二壘で御座れの君の活躍は、相當の期待をかけられてゐる

△皆川定之(內野手)(出身桐生中學)

靑木投手を擁した桐生中學が甲子園原頭にて關東兒の意氣を示した華々しいプレイは今尙ファンの記憶に殘つてゐることであらう。當時遊擊手として輕快な守備を見せてゐた君は卒業と同時にタイガース軍に馳せ參じた。

捕球は同軍の岡田の如き華かさはないが着實の點と打擊に相當見るべきものがあり、時々體力以上の大ものをカッ飛ばす赤城颪に鍛へ上げられた君は試合度胸もあり、精進次第では近い將來の名遊擊手たり得るであらう。

△廣田修三(捕手)(出身松本商業)信越の名門松本商業の捕手として球界人となつた君は卒業と共に廣島專賣局に入り、都市對抗戰などに、大いに活躍してゐたが、其後金鯱軍に入りレギュラー捕手として同軍中スタープレヤの名を擅にした。强肩の君が二壘牽制球なども胸のすく樣な正確さであり加ふるにスイングも非常によく常に三、四番を打つてその猛打は金鯱軍の一威力でもあつた。

昨春タイガース軍に轉じたのであるが、入團早々不幸にも負傷して春のシーズン中は休養を餘儀なくされ秋のリーグには門前、田中兩捕手と共に大いに活躍して無敵の陣地を構成した。

△西村幸生(投手)(出身關大)關大の主將として黃金時代の君の投球振りは實に華々しいものがあつた。職業團に入つた當初は經驗に淺く思つた程の成績を擧げ得なかつたが最近はチエンヂオブペースも非常に巧みになり得意とするカーヴとコントロールが正確になつて來たし、武器とする脇の邊りを衝くホップ氣味の球にも威力を增してきた。昨秋リーグには主戰投手として目の醒めるやうな活躍をして、試合數二十五回、投手勝率八三三、投手防禦率一、四八を以て何れも最高記錄を示して遂にタ軍を優勝に導いた功勞者である、御園生、若林それに新人靑木、釣を加へたタ軍投手團は完璧すぎる程のトーチカ陣地を構成し難攻不落を誇るものと期待される。この西村君はまた打擊のホームも次第に洗練化して來たので、打手としても心を許せない選手の一人である。

△靑木正一(投手)(出身桐生中學)甲子園には屢々出場、殊に一昨年の選拔大會では準優勝を贏ち得た桐生中學の投手として、優秀選手賞を獲得し、その大膽なる投球振は大會隨一の評があつた。中等學校級に於て麒麟兒の稱あつた君は打擊も非常によく四番を打つてゐたが何と言つても試合度胸のあることは君の身上である。職業選手としては未だ完成の域に達してゐないが、スピードもカーブも相當見るべきものがあり、西村、御園生、若林等の猛者連に續いて新人釣選手と共に大いに堅牢タ軍投手團を構成せんとする新銳である。精進の結果は澤村を凌ぐ大投手たり得るであらうとの評がもつぱらである程だから奮起を望む次第だ。

△釣常雄(投手)(出身關大)兵庫縣下、姬路中のマウンドを守り速球とシュートボールをもつて好投手飢饉の縣下に第一人者として光つて居た。大每の第十三回選拔大會に出場して名聲を博したことは今尙多くのファンの記憶するところ。

關大に入學し速球に愈々磨きがかけられ、本年正月帝都に遠征好投よく早慶始め各大學を破り去つた。亦打擊に於いても、昨秋四割一分を擧げ關西六大學リーグ中首位打者の榮譽を獲得した。タ軍に入社するや同チーム結成三周年記念試合勝頭、名軍を軍門に降らしめて好投を見せ入材豊富のタ軍投手團に一層の光彩を放つた大膽な君は多少覇氣に乏しい缺點があるが、これさへ補へれば靑木君と共に將來有望なる大投手として期待される。ワンゲームに强い同君が今後如何なる活躍を見せるか見ものであらう。

△塚本博睦(外野手)(出身吳淞中學)塚本君はタ軍の元投手[illegible]二壘手藤村を生んだ吳淞中學の出身、中堅手、四番打者として活躍してゐた。タ軍へ入團後猛練習を續けてゐるが外野手としては飛球に對するチャッチも正確であるし、駿足、好守は君の誇りとする所である。職業團に入つた今日では打擊の點に更に一歩の進歩をすれば、第一線に立つても相當に働き得る選手と注目されてゐる、未だ球歷に若いのであるから、精進次第では將來の大ものになり得ることであらう。

商業演奏旅行

第五信

ハルビンよりチチハルまでレールはほとんど彎曲を見せず一直線に北滿の平坦其のものゝ此の大草原を走る、これが昔日のロシヤ所有の鐵道であつたのかと思ひ乍ら窓外の變化の無い大平原を見渡すと此處彼處に牛の放牧が行はれて如何にも滿洲の大陸的氣分に浸り乍ら五時十六分途中昂々溪にて乘換へチチハルに着く先づ驚異の眼を見開いたのは驛の建物の豫想以上に偉大なる事でありました。滿鐵福祉の人、驛長、卒業生の出迎を受けてホームに下りる。バスにて卒業生の案內で市內の遊覽を試みた。チチハル唯一の昔ロシヤ領事館の置かれた場所龍砂公園を見又園內の高台に建てられた異趣の望江樓に登り簡單なる市內の說明を聞く。終つて下樓―忠靈塔に詣うでねむれる勇士に心からお祈りをして歸途につく。

時既に七時三十分これより全員風呂に入り一汗流した所で晴れの今夜のステージに登る用意をし大急ぎにて仕事を終り八時より演奏を開始した場內には定刻前より衆人陸續として集り瞬く間に滿員の大盛況を呈し又復蚊と闘ひ乍ら最初の曲をタクトの下るのを今やおそしと待ちハルビンにて抱いた感激と熱とを忘れ得ず再び皆の心が一つに同化したものゝ如く力を合せて無我の裡に全曲を終へ初めて我に返つた。リズムの高く低く弱く強く聽衆の失なはれた情操をよび興した時衆人暫し陶然として我を忘れた觀ありて拍手滿場を壓し絕讚の聲勃々として起つた。

皆に惜しまれ乍ら當夜の演奏會の幕を閉ぢた後、卒業生の案內にて驛構內食堂に於て私達の歡迎會が催された、おほめの言葉や御訓話等ありて樂しき一時を過し當演奏旅行中最もあはたゞしい思を殘したこの戰跡地をあとに福祉係卒業生の人々の見送りの中に「來年はぜひ又來い、そしてて來る時は十日位前に通知を出せ」と言つた樣な熱援の聲をあびせられ興奮に滿ちてチチハル驛に別れを告げて坐席に坐るがどうしても落着いて居られぬ爲め車內で先生の廻りに圓陣をつくり今夜の演奏會の盛況を思ひ返して話し合つた。かくして次の演奏地白城子に夜行十二時にて向つた。(通信係　西岡純勝記)

―第六信―

チ、ハルより白城子まで

八月四日眞夜中の十二時過ぎ躍進都市の象徵であらうその驛を夜空に見上げながら列車は次の目的地白城子へ彼地では充分休めると思つたゝめと至る處の大成功に愉快となつた、うれしさをこらへきれず話がつぎからつぎへとはずみ早朝白城子へ着いた時は些か疲勞が出元氣消滅した體である、鐵道俱樂部へつき疲れを癒す暇もなく守備隊へ出かけ野外で演奏をする。たとへどんなにつかれてゐてもいざ吹奏となると不思議に精力が湧出る。部隊長より何等の慰安とてない僻地の兵士達に久しぶりでやはらかい音樂に心を樂しませてもらふことが出來て感謝にたへないといふ言葉を頂戴して自分達はほんとうにうれしくなり今までの疲れもなくなつた樣に思つた。酒保でサイダーをいたゞく。宿所で食べやうと安價な酒保で罐詰その他のお菓子を澤山買入れて來るときとは變つてガヤ〳〵さはぎながら元氣よくバスにゆられて歸る。午後三時から所員の人々に演奏を聞かせる。こんなにうまいならもつと聞きたいとか間があれば外の人にも聽かせるとよいのにとか意外の好演奏にびつくりしたやうな言葉を受け我々も滿足しおかげで何時の間にやら眠むたさもどこかへ行つてしまつた、夜は暇なので風呂に入り各々呑氣に歌を歌つたりラッパを吹いたりさはぎまはつたりして過す今までで一番のんびりとした時間であつた、明朝早いので早目に眠りに着く白城子といふ古風な名に似ず新しい割に綺麗な街であるなあと思ひながら……。(德山記)

東洋平和を目指す　日本の聖戰

インドの志士サハイ氏語る

日本亡命のインド志士在日本インド國民會長A・M・サハイ氏は約一ヶ月半の豫定で滿支視察のため十二日入港の熱河丸で來連ヤマトホテルに入つたが船中で語る

四年前大連において亞細亞民族大會準備會が開催された時訪滿した事がある、今度は一ヶ月半餘の日程で新京、哈爾濱、奉天、北京、天津、濟南、張家口、青島上海等北中支の主要地を視察、英國官憲により歪曲され傳へられてゐる日支事變につきインドの新聞雜誌を通じ全インド民族に日本の眞意を訴へたいと思つてゐる今度の事變は明かに東洋平和を目指しての日本の聖戰だ、勿論日本をはじめ滿洲支那も苦しまなければならない、しかし亞細亞人の亞細亞建設の礎石となることとは明かです、形式的紳士である英國は外交的狡猾さをもつて支那を操つて來た英國勢力より解放することが支那を救ふ第一の道だと確信してゐる、日ソ國境紛爭事件にしても陰に英國のあることは疑ひを容れない日本は今度の事變により英國の力を極東より驅逐し亞細亞の明朗化を實現してくれると信じてゐる

なほサハイ氏は當地に二泊の上十四日あじあで北行する

東京大相撲が關東州に防空獻金

去る七月廿六日から卅一日まで六日間大連で擧行された大日本大相撲滿洲場所總收入は八萬一千八百八十二圓九十五錢でその內、三萬二千餘圓を關東州防空獻金ならびに皇軍慰問費として醵出したが內譯は左の通りである

【總收入】八一、八八一圓九五錢【內譯】總支出三八、四三五、一五、關東州防空獻金二一、三七九、一二、皇軍慰問旅費準備金一〇、六八九、五六、合計六〇、五〇三、八三、差引二一、三七九、一二

早大排球部十六日來征

滿洲帝國排球聯盟の招聘に應じて來朝する早大チームの一行堤秀夫部長、監督岡田英夫氏外選手十七名は朝鮮京城における合宿練習試合を終へ來る十六日午後六後廿分新京驛着列車で入京し、一日休養の上十八日午後四時から大同大街ニッケビル前日滿商事コートで全新京軍と來朝初の對戰をすることゝなつた、早大軍は日本排球界の覇者であり日本一の前衛を有する强豪である、これに對し全新京軍は代表候補を詮衡し目下猛練習を重ねつゝあるが、近く代表を決定し强チーム編成の上强豪早大を邀擊せんと意氣込んでゐるから相當興味ある試合が展開されるものと豫想される、早大軍の陣容は左の通りである

△前衛　堀、木下、有馬、朴、小野、由谷

△中衛　湯淺、谷口・井畑、梅根、泉

△後衛　伊藤、西島、池田、坪井、寺田、有川

なほ同チームは新京の試合を終へた後哈爾濱、鞍山、大連等に轉戰することになつてゐる

明暗

出生

▽淨月區拉々屯力行村市岡卯喜男三女宏子(七月十八日)▽軍用路太平街三號宮坂利衛四女美惠(七月六日)▽南嶺同仁鄉一〇一號池田才藏長女久美子(六月三日)▽北安路市營住宅三〇一號今村利加長女淸子(三月三十一日)

家庭医学

舌の變化で胃腸の病氣が判る

素人にも必要な獨り診斷法

「舌は胃腸病の鏡」と云はれてゐる樣に、大體舌をみて胃腸の病氣が判るものですが、そればかりでなく、舌はまた猩紅熱やはしかなどの場合にも直に變化を現します。日本人に一番多いと云はれる胃腸病の場合、舌はどんなに變化するものでせうか……◇

大體健康人の舌は淡紅色で、稍紫色をおび、表面は無數の乳頭といふ小突起によつて薄い灰白色を呈し、緣になる程紅く全體が適當に濕氣をおびてゐるものです。

この舌がもし灰白色の、俗にいふ苔で一面に覆はれ、後の方がことに厚くなつてゐたら急性胃カタル、もしくは小腸カタルとみて差支へなく

胃酸過多症・胃潰瘍のときは、舌の中央が紅く、周圍が白くなつてきます。この變化は特に胃潰瘍患者に著るしく、學問上「グレッスネル氏舌」といひ、いつも濡れてゐます。

大腸カタルの場合には、舌のつけねの方が乾くのが普通で、胃癌、肝臟癌等の場合は、表面が紅く乾燥します。胃酸分泌過少から惡性貧血を起してゐる樣な場合には、舌が萎縮して薄白くなり、舌苔が少くなつてきます。これを「ハンター氏舌」と呼んで居ります。

斯樣に、舌の變化によつて病氣を出來るだけ早く發見して、

治療する事が大切であります が、胃腸病の手當法としては從來、その病狀に應じて、食慾不振には消化劑、刺戟劑、下痢には收斂劑、便祕には下劑と云つた樣に、化學藥劑が用ひられてゐたものですが、しかしこの對症藥は、一時的には胃腸の働きを補助し、消化をよくする效はあつても、根本的な治療にはならず、從つて服用をやめれば、また惡くなるといふことになり勝です。これはどうしても病衰した胃腸機能を、組織から丈夫にして正常な狀態にひき戻さなくてはならないのですが、それには複合ヘーフエ菌劑若素(わかもと)の服用が最も有效であります。

特殊の培養法に

若素(わかもと)の特色は、特殊の培養法によつて得た活性ヘーフエ菌劑に多數の有益菌を配してあるので、獨特の細胞原形質賦活作用によつて衰弱した胃腸の細胞に更生させ、機能を活潑にします。從つてこれを服用すれば、病氣の原因たる機能の衰弱が恢復される結果、消化吸收が良くなり、榮養も充實して下痢や便祕食慾不振等、種々の症狀も自然に輕快してくるのであります。なほその上に榮養素としても各種ビタミン、脂肪、アミノ酸等を綜合的に含有して居りますから、胃腸の衰弱からくる榮養の低下も同時に防がれる譯で、いろいろの方面から效果が及ぼされますから、急性、慢性の胃腸病者に特にお奬めしたい藥劑です。

あせも―たゞれは　榮養の惡い子に出來易い

あせも、たゞれの直接の原因は皮膚の濕潤です。暑さで汗が多く皮膚が乾くひまがない樣な場合に汗の有害な刺戟によつて、その部分にあせもが出來ます。

たゞれは乳兒につきものゝ樣に云はれますが、それは乳兒の皮膚が非常に軟弱なため、ちよつとしたことにも傷がつき、而も摩擦し易い場所は濕り易い場所でもあるのでたゞれが出來るのです。

あせもやたゞれの豫防をしやうと思へば、勿論皮膚を淸潔にすることも大切ですが、單にこれを皮膚だけの病ひだと思ふのは大きな間違ひで、やはり內部的の原因によつて皮膚の抵抗力が弱まるからで、主として榮養の缺陷から來る場合が多いのです。

◇…**皮膚**が非常に軟弱なため……

◇…**體質**の上から云ひますと滲出性、腺病性といはれる虛弱兒に多く、また機能的にみますと消化器――特に腸の弱い子供に最も起り易いのであります。

云ふまでもなく腸は全身榮養の根幹で、この働きが衰へると皮膚の榮養も自ら衰へるわけで、平素お腹の弱い子はどうしても皮膚も脆弱になり勝です。

ことに腸內容物の消化吸收が圓滑に行はれませんと、種々の有害なガスや毒素が產出されて、血液中に混入し全身の機能に障碍を起しますから皮膚の榮養を惡くし、その抵抗力を弱めることは非常なものです。

だから腸の弱い子や體質虛弱兒はすべての病氣に對する抵抗力も弱く、消化不良を起したり風邪をひいたりし易くまた病菌の侵入を受けると重篤に陷る樣な危險もあります。ですからお子樣の胃腸を丈夫にするといふことは、單に皮膚を强めるといふことだけでなく、全身の抵抗力を昂め、病氣に罹り難い體質とするためにぜひ心掛けたいことですが、微生物製劑として有名な若素(わかもと)はもつとも合理的にこの要件を充たす榮養增進劑として認められて居ります。

本劑中には、種々の貴重な榮養素や强力な活性酵素、ホルモン樣物質等が綜合的に含まれてゐて、全身榮養を佳良にせしめると共に

◇…**胃腸**機能を根本から强化し、殊に細菌、毒素を吸着して腸內を淸掃する作用にすぐれてゐます。

しかも微生物劑の特長として、常用しても副作用を來すことなく、榮養の缺陷を補ひ、弱い機能を丈夫にすることが出來るので、特色ある小兒擁護劑として、小兒科醫や御家庭の間に、廣く實用されて居ります。

この若素(わかもと)は東京芝公園大門、わかもと本舖榮養と育兒の會(振替東京一七〇〇番)から三百錠入、千錠入、粉末九〇瓦入、二七〇瓦入等が一日分僅々五六錢(小兒には二三錢)の廉價で發賣されてゐます。尙、滿洲國、中華民國の各地藥店でも取次ぎ販賣して居ります

療養實話

宴會に飲み過ぎて胃腸病に

(京都市下京區鍵田町)清野良二

私は二十五歲の頃、新年宴會でふと酒の味を覺え、數年を經過してからは一人前の酒飲み仲間になつたのです。處がある宴會の席上ですゝめられるまゝにかなり杯を重ねましたがそれ以來胃腸の工合が非常に惡くなり食慾は衰へ身體中がだるくてさつぱり元氣がなくなりました

そこで或る友人にすゝめられるまゝに胃腸藥を服用しましたが、一向にはか〴〵しくなく段々食慾がなくなり衰弱さへ加はつてきました。ために會社の缺勤さへ餘儀なくされ日夜惱んでをりました。その頃友人が見舞に贈つてくれた「錠劑わかもと」を服用して見ました。處が服用する中に、食慾がついて來て空腹を訴へるやうにさへなりました。そこで更に續けて服用する中に、あれ程慢性になつてゐた胃腸病が不思議な事に忘れたかの樣になりました。食慾は次第についてきたり顏色がいよ〳〵よくなつてきました×ケ月連用した處、元氣は以前と變らなくなり、缺勤がちで會社も「錠劑わかもと」の元氣で勤められるやうになり、同僚達が不思議がる程明朗になつてきたのです。

カブトのカッちやん

中島菊夫

家庭

夜店のそゞろ歩きに　つい買つた鉢植
いつまでも枯らさぬやうに　其後の灌水と手入

都會の焦熱地獄のオアシスとして夜店などからすがすがしい鉢植を買つてくるが、ゆつくり樂しむひまもない中にせつかくの鉢植を枯らしてしまふ事がよくある、その用心には？まづ第一に鉢植をおく場所は風通のよい、朝夕陽があたつて日中は陽のあたらないところがよい、夏は下枝は枯れ易く、枯れなくても形が悪くなり易いので、しんの成長を止めて出來るだけ下に成長力を集めるやうにするほかよく下の方の風通しをよくし、下の方に朝夕の横からの日光をあてる必要があるのです。第二に

（水）は毎日十分にやることです、乾燥した日と濕氣の多い日とでは多少加減をしなければならぬが、まづ十分にやるはうが安全です、水を餘計やつたから枯れたりするのは、鉢底の水はけが悪くて底部の水が酸化し、そのため根がブスブスに腐り、葉のさきに黒い斑點ができるのです。棕櫚竹や楓、葵、蘭などによくみる現象です。

袖のかゝつてゐない赤鉢などは給水後すぐに乾くから水をはつたバケツに漬けて充分しめらす必要があります。

水を余計やつてならぬものは水はけのいゝ材料を鉢の底に使ひ水で加減せずに培養土で加減するがよい、水は苧の葉のやうなすべりてゐつやだつた葉にはかけてもよいがサボテンの葉や葉に毛のあるものゝ葉にはかけてはいけない。第三に夏は

（形）を大きくしその内容を充實させる時だから、油蟲、貝殻蟲、毛虱などの蟲がつくと目にみえて榮養が衰へます。だから石灰硫黄合劑かニコチン製劑（硫酸ニコチンが代表的）除蟲菊製劑（デリス石鹼）で驅除するとよい、肥料は夏は危險ゆゑ強いのをやらぬこと、水にまぜて薄いのを少しやるか油粕の腐つた汁を少しやればよい。

夏のワイシャツ　上手な見分け方
お洗濯の注意など

ワイシャツの見分けはなかなか難かしい、總じて布地の見分けは素人には困難だが、適當な布地といふ點からいへばワイシャツはポプリンといふことができるほどポプリンが一般的でもあり、また事實最上でもある。

しかし、盛夏用としては地が幾分厚手であるからポプリン風の薄地のものが一番よいと思はれる、その他が麻、ベンベルグ、縮などが愛されてゐるが、麻は汚れ易く皺になるといふ缺點があつても肌ざはりはサラサラとして非常に氣持がいゝから、毎日變へて着るだけの余裕のある人にはふさはしい布地である。

ベンベルグは値段は安いが皺になり易く、汗をかくとベタベタして盛夏用には不向きである。

値段の點や、柄が鮮明に出ることや、比較的皺がよらずそしてモチのいいものはどうしてもポプリンである。一般的な見分けとしては、布地にムラのないもの横糸も縦糸も平均してゐて、フシのないものが良品であり、仕立の良否はボタンの穴のかがりを見るとはつきりする、こゝが比較的丁寧なものは、全體の仕立も丁寧であり、こゝで手を抜いたものは、全體の仕立においても手が抜いてあると見て差支ない。

最近、麻まがひのものが相當出てゐるが、本麻には必ずフシがあるもので、一圓台で麻と稱して賣つてゐるものにはこのフシが無いからすぐ分る、絹物は殆んど影をひそめて來たが、これは一般に絹の女性的な感じより、木綿の男性的な強さへと趣向が移つて來たものと見える。

洗濯の注意としては汚れの染みないうちに輕く洗ふの一言に盡きるやうだが、襟やカフスは縞目にそつてブラシで輕く洗ふと仕上りがよい。

こんな飲物は如何

作り方はまづ白粥を煮て、麴を入れ、酒をつくります、出來た甘酒は、木綿の袋に入れて、手でもみますと白色のねばい汁となりますから、その中に蜂蜜とレモン汁を入れよくかきまぜますと恰度カルピスの樣な白色をしたものになつて味は全くカルピスの樣になります。また蜂蜜の代りに砂糖を用ひ、レモン汁の代りに夏蜜柑の汁でも結構です。

開け放しの寢室に　蚊取り線香は
こうしてお使ひなさい

暑苦しいので戸を開けたまゝで眠る夜が多くなりました。大抵の方は夜通し蚊やり線香を燻らして外からの蚊軍を防いで居られる譯でせうが元來蚊やり線香は蚊を殺す力を持つものでなく、煙に依つて蚊の呼吸器中樞神經を痲痺し、癲癇のやうな痙攣を起させるので、煙の効力が持續する間だけ人體を刺さないのですからその煙の扱ひ方に依つて當然効果の相違が出來るものです、で之に就て御注意しますと、もともと煙を室一杯に充滿させる事は不可能ですから煙を流す線香の位置を考へる必要があります。人體に近くその室の氣流のカミに置かねばなりません。つまり開け放した戸口が特に風通しが良ければ、その風上になる戸口から煙が人體に流れて來る處に線香をおき、その風下近くに人體がある事、又は戸口階段口其の他の隙間からの氣流が強ければ、それを利用することである。

健康相談
落馬から來た腿痛症　二年の固疾・治療法を

（問）友人の妻、腿痛症で已に二ケ年程になります、各醫院で治療して貰ひましたが效果がありません又診察は何の先生も一致して居りません、病の原因は或日（二年前）馬に乘つて他家に訪問途中馬に振り落されて左足が壁に突當つてそれ限り歩かれませんでした、左脚は日毎に痛さを増しました、現在は坐つて（日本人の正座の形で）居る事丈けは出來ます、晝間は餘り痛くありませんが夜間眠れない程です、皮膚は腫れても居らなければ別段變色もして居りません、或る時は臀部が腫れてゐますが是は常に坐る爲かと思ひます、痛い時は筋がブラブラして動きます、又左脚は地につける事が出來ません、或る醫者は「筋萎縮質斯」と申され他の醫師は「骨膜炎」と申されました結局二ケ年にもなりますが治りません、何と云ふ病名でせうか、又治療は如何すれば良いでせうか

（答）文面より正確なる病名を申上る事は出來ませんが次の事が考へられます、受傷時骨傷害が加つて骨折或は裂を起し受傷部に神經が癒着して外傷性の神經痛を伴つて居るのではないか、文面には年齢の記載はありませんが高齢になれば輕度の打撲例へば倒れた際にでも容易に骨折を來します、次に受傷部より感染して二次的に（皮膚に損傷がなくとも感染します）骨髓炎を起し慢性の經過をとつて居るのではないか
何れにしても骨に關係あり相ですからX光線で檢査する必要があります、治療は勿論診斷確定後なる事は云ふ迄もありません（回答者新京特別市立中央通保健所外科々長醫學博士濱谷寅治）

モダンお孃樣方へ　夏帶に新感覺

盛裝の時は別として一寸した散歩や浴衣をお召しになる場合若い斷髪のお孃さん方が大きな太鼓を結んだのはどうも重くるしくて不調和な感じが致します。と云うて普通の三尺帶では餘りにも子供つぽくて貧弱でもありますので少しモダンで新鮮な感覺を與へる帶を一つ考案してみました、それは普通の三尺ではすぐ皺になつてよれよれになりますから其缺點を補ふために、新モスを三重にしたものを帶心にして仕立てますと結んだときにも前よくひろがり、後の蝶結びもふつくらと大きくなつて、お尻の大きい人でも十分にカモフラージできます。尚ほ帶にする布は殊更に帶地を使はず有り合せの布をはぎ合せてみたり或は黒地の帶へ他の布を四角や圓形に切つて縫ひつけてみたりするとかへつて趣味性に富んだものが出來ませう。それからこの帶にもう一つ新しい感覺を盛るために帶の前飾りに洋裝のバンドに用ひるバツカルを用ひてみました、十四五才から廿才以後のモダン向きに一つ如何でせう。

連載漫画　西ひさし

スケートアブナイネ
スベツテアルケナイナ

けふの番組
［M・T・C・Y 新京放送局］十三日 土曜日

朝

六、二五ニュース（東京）
六、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
六、五〇中等滿洲語講座（大連）秋父固太郎
七、一五朝の音樂（大連）日本軍歌集（その一）＝日清戰爭以前＝
八、二〇氣象通報
八、二五建國體操
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭講座（奉天）廢物利用のいろいろ　黒川君枝
一〇、二五料理獻立（大連）
一〇、三五家庭メモ（大連）
一〇、四〇經濟市況（大連・新京）

晝

一一、三五經濟市況（大連）
一一、四〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）
〇、〇一晝の演藝
アヲキタンゴアンサンブル
獨唱 小澤 進
同 寶田ナツ子
指揮並アコーデイオン獨奏 青木 武政
土曜コンサート 輕音樂
一、碧空　二、ナポリの夜　三、颱風　四、若き日の夢　五、ドン・ホセ　六、泪のタンゴ　七、あゝ我が戰友
引續き 講談社提供キングレコード
漫才 家庭事變 アザブ・ラブ アザブ・仲
〇、三〇ニュース（東京・新京）
一、〇〇經濟市況（大連・新京）
一、一〇第廿四回全國中等學校優勝野球大會實況（大阪）（甲子園野球場より中繼）（ニュース氣象通報の時間には中斷す）
四、〇〇ニュース（東京）
四、氣象通報・ニュース（新京）
四、三〇野球試合實況（西公園野球場より中繼）タイガース對滿洲國（ニュースの時間には中斷す）アナウンサー 小澤
五、二〇ニュース（鮮語）
五、三五演藝（奉天）＝野球なき場合放送＝
六、〇〇子供の時間（東京）幼兒童話 ノオテガミ ナツ 東京童話クラブ

夜

六、一七子供の時間（東京）音のなぞなぞ
六、二〇コドモの新聞（大連）
六、二五趣味講演（大連）人造纖維と滿洲　齋藤 稻夫
七、〇〇ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇國民歌謠（東京）一、航空唱歌　二、グライダー日本　合唱 エル・エル・クワルテット　伴奏 東京放送管絃樂團
七、四〇講演（東京）近時雜感　堀切善兵衛
八、〇〇ヴァイオリンとギタ（東京）
一、ヴァイオリンギター二重奏　ヴァイオリン 前田 璣　ギター 小林 行治
奏鳴曲 第一番 ニ長調 ゲラニヤーニ作曲 第一樂章 アレグロ 第二樂章 アダヂオ 第三樂章 ロンド
二、ギター獨奏 （イ）夜想曲 （ロ）アマリリスのボレロ 大河原義衛作曲
三、ヴァイオリン獨奏（ギター伴奏）セレナード シューベルト作曲 前田璣編曲
八、三〇俚謠連夜三題（第一夜）（廣島）
一、盆踊唄 二、祝島踊 備後地方盆踊 山口縣熊毛郡上ノ關祝島連中 廣島縣沼隈郡千年村連中
（イ）三つ拍子（ロ）四つ拍子（ハ）チヨロリン踊（高知）三、有岡踊 四、兵庫踊 高知縣有岡村連中
八、五〇鄕土の音を送る（東京）
九、〇五歌謠曲連夜（第二夜）（大連）＝協和會館より中繼＝ 伴奏 日本ポリドール管絃樂團
一、（イ）銃後だより（ロ）鬪の追分（ハ）椿咲く島（ニ）元祿ぶし　青葉 笙子
二、（イ）憎いわね（ロ）好いて好かれて（ハ）皇軍磯節（ニ）狹霧の港　山中みゆき
三、（イ）妻戀道中（ロ）南京だより（ハ）波止場氣質（ニ）男の旅唄（ホ）上海だより　上原 敏
四、（イ）滿洲よいとこ（ロ）滿洲事變七周年記念歌　上原 敏　青葉 笙子　山中みゆき
九、三九時報・ニュース・ニュース解説（東京）河川水泣通報・氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、三〇ニュース再放送
一〇、四〇北滿の時間（哈爾濱）

學藝

小説 靜子 (六)

市川豊彦

今は最早や此の儘に過すことの出來得ない自分である事を判然と知つた。僕は長い手紙を書いた。その手紙の内容を此處に書く必要はあるまい。僕の靜子に對する心持は、尠くとも一ヶ月以前のものではなくなつてゐる。今は只、總てを犧牲にしても、貫徹しなければならないものを僕は握つてゐるのだ。

貫徹、力強い余韻の有る言葉だ。そうだ、正しく僕の心にこれ以上の眞實もこれ以下の眞實もないのだ。

幾度か逡巡した後漸く靜子に手紙を渡し得てから、丁度三日過ぎた。その三日間の氣持は到底言葉には現はし得ない。唯、廣漠たる砂漠を蹌踉として彷徨ふ心は、どんな意味を含んでゐるにせよ、只管に彼女の返信を待ち焦れてゐたのだつた。

四日目の夕刻、僕は震へる手に彼女からの便りを、握り締める事が出來た。激しい心臟の鼓動は、何時までも止らなかつた。戰く指先は、幾度か開封を躊躇した。だが、それにも增して激しい力が、僕に勇氣を與へて呉れた。それは彼女の美しい微笑と、優しい言葉とであつた。

安田様

御便り拜見致しました。そして貴男様の御心の裡を大きな驚きと共に識りました。

私の様な女に、斯く迄御好意を寄せて下さる貴男様に、私は何と言つて御返事を差上げたら宜敷しいのでせう。

安田様

私は、靜子と言ふ女は、ずつと昔に女としての凡ての誇りを失つて了つてゐたのです。そして異性に對しての凡てを忘れて終つた。いえ忘れようと努力して來たのです。未亡人と言ふ、出戻りと言ふ、弱さを、ひけ目を、感じながら漸く生きて來た、女なのです。そして昨日の日まで、世間の白い眼を浴び乍ら、寸暇とて與へられない、人目に付く職場に在つて、危ふく仆れ掛る私に、勇氣と力を與へて勵まして呉れたのは、只可愛い、私の子供だつたのです。

そんな私でしたのに、貴男様にお目に掛つて居る内に、折に觸れ、女學生時代の想ひ出を描いたりして、ひとりでに滲む泪を、どうする事も出來なくなつて了つた私なのです。夕星を仰いで、哀愁を唯一つの慰めとしてゐた、あの若い頃の血潮の流れの中に、優しい貴男様を見擬て、心の奥に淡いものを覺える様になつた私でした。

そうした優しい潤ひのある務めを、日一日と過して行ける様になつたのは、本當に、貴男様の賜物ですわ。でも、此の幸福が、いつまで續いて呉れるでせうかしら。

安田様

私は、靜子の悲しい過去に觸れ度く有りませんの。でも申し上げて了ひますわ。

處女の頃描いた結婚、それは七色の糸で巧んだ刺繡でしたわ。架空的な、まるで夢幻の中に、戀し合ふ二人の生活を想像してゐましたわ。でもそれは、皆儚い空想に終つて終ひました。現實は、私の期待の凡てを裏切つて了つたのですもの。美しい夢は、醒め果てた時の悲しみを、深くしたゞけでしたの。

その苦い體驗は、子供を抱へて、夫に逝かれた時よりももつと、もつと強い悲しみでした。そうした過去は、その後の私を段々臆病にして行つたのです。

そして或る夜私は、靜かに眠る吾が子の前で誓ひました。

私は只母として、清く正しく、お前を育て上げて行きます。と。女として、いゝえ母として、靜子は此の瞬間程、強く淸らかな、自分の心を見た事はありませんでした。そして今でも、その氣持は少しも變つて居ない積りで居りますの。

でも、貴男様の御便りを拜見した時私は迷ひました。三日間と言ふものを、只その惱みの中に送り迎へました。

そして、私は識りました。貴男様の優しい御心に依つて、再び得られた心の潤ひを、結婚と言ふ鎖で縛つて了ひ度くは無いのです。そして、情熱に依つて崩壞して終ふには、余りに勿體ない氣が致します。

私は現在、野邊に咲く、すみれを愛し度い心に溢れて居ります。杳かな空に瞬く星を眺めつゝ、澄み行く心を望んで居ります。貴男様の愛を、いつまでも／＼、丁度、若き日の思想の中に抱き締め乍ら生きて行き度いのです。

靜子は我儘でせうか。でも本當に愛して下さる貴男様は私の最後の御願ひを、屹度聞き届けて下さる様な氣が致しますの。

そして永遠に、世界の果の何處でか、貴男様を偲び乍ら、果しない想ひ出に微笑む靜子を屹度思ひ出して下さる様な氣が致します。

私は貴男様に依つて力を與へられました。どんな苦しい生活にもどんな冷い世間の眼の中でも立派に吾が子を育て上げて行く、力と勇氣を與へて下さいました。最後に、靜子はいつまでも／＼幸福です。

靜子より

僕は此の手紙を讀んだ時の氣持の變化を余りぐど／＼書き度くない。

只、幾度か繰返して讀んで居る内に僕の心は次第に苦悶から遠ざかつて行つた。

いつかしら、美しい線の流れが自分の底を流れてゐるのだつた。

靜かに／＼跫音を忍ばせながら……

忍びやかに、せゝらぎは奏でる。

思ひつゝ
希ひつゝ
彷徨ひ行く
吾が心よ

それは、懷かしい、思ひ出の夜の伴奏なのだ。そして彼女の姿なのだつた。

(完)

ナチス・ドイツの 文化映畫政策 (三)

外山卯三郎

先づ國家は一國の文化のために寄與してゐる文化映畫の製作者から、文化映畫製作に對する不安を、出來るだけ取り除くことが必要である。これはドイツの文化映畫政策の根本方針であつて、一國の文化建設に寄與してゐる文化人に、不安を與へることは國策的見地から見て、妥當とは思はれない。またドイツ映畫法による映畫の檢閲所は、決して單なる禁止をこととする裁判所のやうなものではなく、映畫文化の促進者が顧問としても大いに活動するものでなければならないものだ。

第二の方針はドイツの公衆を啓蒙して、從來よりもずつと補助文化映畫に興味を持たる義務のあることを覺悟させて、それによつてドイツの大衆を文化的に向上させようと言ふのである。國家のいとなむ義務教育のやうに、國家は文化映畫によつて文化教育の向上をはからうとするものである。

第三の方針と言はれるものは、さうした文化映畫政策を遂行するために、一般の映畫批評家の協力を求めて、文化映畫もまた十分に批評對象となる價値あることを認めさせようとすることである。公衆と批評家と檢閲當局とが、ともにその目的を成就するために、協力し努力するならばドイツの映畫文化はドイツ國民の文化的な傳統を宣揚するにふさはしい世界的價値あるものとなるだらう。

かうした根本目的のもとに起案された準則並に指令を見るならば、次のやうな内容が含まれてゐる。

文化映畫と言ふものはその全體的な影響が情意や感覺や精神を向上させまた豊富にさせるものでなければならない。從つて文化映畫は全體的な調和を持つとゝもに、全體的な統一がなければならない。つまり畫面と科白と音樂などの個々の要素が、他の一つを犧牲にしないで全體の要素がよく調和を保ち統一を持つてゐるものでなければならない。

國家が奬勵する文化映畫と言ふものは、新しいドイツ國を文化的にまた世界的に政治的に立派なものとして、外國に紹介し、理解を得るものとして賞讚を博するものでなければならない。さうした效果は上映の結果として希望するものであつて、決してそれを廣く誇張することなく、その意志を映畫の背後に潛めさせにして、靜かに觀客が消化して、自分で思ひ浮べるものとしなければなるまい。また逆に外國の文化映畫がドイツの賞讚を博するには、その當事國の本質の一部を眞正眞實に描寫し、且つドイツ國の事情にふさはしい高さに到達する時に限られてゐるものである。

廣く政治的傾向を盛上げた文化映畫は、外國用として使用することが出來ないが、また國内においてもさうしたものを使用する餘地がない。鳴物入りの宣傳映畫は國家としてもナチス黨としても文化映畫として上映する必要を認めない。

戰爭と小説

―芹澤光治良「孤雁」(『改造』八月號)―

愈よ事變に關係した場面を取入れた作品が數多く出るやうになつた。その一つとしてこれがある。

これは出征してゐる弟をはる／＼尋ねて行つた女の記錄といふ體裁になつてゐる。その夫は支那に行つてゐて死んだのである。弟を訪ねて行くといふのは、母の死を報せるためなのである。その弟には、好きな藝者があつたのだといふやうな噂が立つてゐるが、彼女は信じない。北京から石家莊へ、女の一人旅をして留守隊へ辿りついてみるとその弟は戰死してゐたのだつた。このいたましい場面が、荒々しい戰地風景の中にいきいきと描き出されてゐるのである。

これはすでにこのやうな題材の故に批評も避けたいと思ふ。この作者がかうしたものを描いた逞しい心構へに敬意を表して置かう。(御垣衛士)

宋代に於ける婦人の職業 (六)

全漢昇

酒樓の妓女は、賣笑、宴に侍する、歌を唱ふ……等の外、酒庫に於いて迎 をやる日には外に出て遊行表演した。

臨安府點檢所管城内外諸酒庫、每歳清明前を開き中前新を賣り迎年す。諸庫本所に呈覆、日を擇び開沽呈樣。各庫預め告示を頒つ、官私妓女新麗 着し社會鼓樂を差雇し樂を以て迎引す。期に至る、……官私妓女、擇びて三等上馬と爲す、先づ頂冠花衫子 袴を以てし、次いで秀麗有名なる者を選ぶ、珠翠朶玉冠兒、銷金衫兒、 兒を帶す、各花斗鼓兒を執り、或ひは龍阮琴瑟を捧ぐ、後の十餘輩は紅大衣を着、 時髻を帶ぶ、之に名づけ首を行く。各銀鞍閙裝、馬疋を雇賃す……貧賤の潑妓と雖も亦衣裝首飾を借備するを要す、或ひは人に托して雇賃し以て一時の用に供す、しからざれば則ち責罰して再辨す。…風流少年、沿途酒を勸め或ひは點心を送る。間年尊人あり羞恥を讓らず、赤復之がために旁觀哂笑す、遊人隨處に歡門を結す。品嘗し歡を追ひ笑を買ふこと常時に倍す。(夢粱錄卷二、諸庫迎煮の條)

茶肆酒樓の外に妓女がゐたのは「妓館」「瓦舍」「烟月作坊」「教坊」等があつた。

小貨行通鷄兒巷妓館(東京夢華錄卷二酒樓の條)瓦舍なるものはその來る時は瓦舍し去る時は瓦解すの義を謂ふ、聚め易く散り易き也。何れの時に起れるかを知らず。頃者京師甚だ士庶放蕩不羈の所となる、赤子弟流連破壞の門と爲る。(夢粱錄卷一九瓦舍條)

四方指南海烟月作坊と爲すを以て風俗尙ほ淫なるを言ふ。今京師色を驚く戸將に萬計に及ばんとす、男ト自ら貨すに至つては進退恬然、遂に 巣巷陌と成る、又烟月作坊に止まらざる也。(宋陶穀淸異錄卷上 巣巷陌條)初十日天寧節、前一月教坊諸妓を集め閧樂す。(東京夢華錄卷九元寧節の條)

この外「府第の富戸、多く邪街等の處にあり、そのよく謳ふ妓女を擇び雇倩にのみ祇應す、或ひは官府公筵、及び三學齋會、 紳同年會、鄕會皆官差諸庫の角妓祇直。」(夢粱錄、卷二〇、妓樂の條)

宋代の妓女に身體の自由などは全くなかつた。彼女らはいつも人に買はれ 贈の用にあてられた。

范文正公鄱陽郡に守たり、慶朔堂を創む、而して妓籍中小鬟妓尙ほ幼なるあり、公頗る意を屬す。既に去る詩を以て繼介に寄せて曰く「慶朔堂前花自ら栽ゆ、便ち花を携へて去る未だ曾つて開かず、年々長くあり別離の恨、已に東風に話す幹當來れ。」

或ひは權貴者に當養されるのもゐた、或ひは鴇母に虐待されるのもゐた。或ひはこれを用ひて「美人局」を開いて少年を引誘するのもゐた。以上は『武林舊時』卷六遊の條に出てゐる。(完)

昔の話

木原三衛

しめし合せて
暗い街に遇つたつけ
べつに
逢曳といふのではなかつた
街頭連絡…
でも眼のきれいな
可愛いゝ娘で―
心は躍つてゐたのだつた
やがてひつくゝられて
三週間がとこ
辛い目を見たつけ
彼女の行方は判らなかつた

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△大陸科學院彙報(第二卷第二號)川瀨金次郎「滿洲新耕地の生産力に就て」福渡七郎「木材糖化工業の問題」大杉繁、森田修二「滿洲國アルカリ地帶の土壤に就て」その他の研究を盛る(新京大同大街、大陸科學院、一圓五十錢)

△乃木將軍の一逸詩(太田雷眠著)嘗て著書が乃木將軍より與へられた詩を中心に思ひ出を述べたもの(大阪市東區本町四、大乘社、二十錢)

△内外經濟情報(八月號)滿文により滿洲經濟關係の諸記事を盛る(新京西四道街一三、日滿實業協會滿洲支部、十五錢)

△北支畫刊(第三號)滿鐵が現地で編輯し、拓け行く北支の諸場面を收錄したグラフ(東京日本橋區、平凡社、三十錢)

躍進工業日本の第一線

日本海航路中心の日滿連絡路確立
幹線、補助ルートの基礎案
愈よ近く實現の運び

【東京國通】永井遞相は十二日の閣議において日本海航路を中心とする日滿連絡交通路の確立方策を說明し各閣僚の諒解を求むるところあつたが右案の骨子は

一、東京、新潟、羅津と新京を結ぶルートをもつて日滿連絡幹線とす

二、ほかに大阪、伏木（富山縣）羅津、新京をもつて補助ルートとする

三、これがため大連汽船、朝鮮郵船、北陸汽船、北日本汽船、島谷汽船の各社を合併して强力なる海運會社を設立する

四、合併の方法は右各社より現物出資（主として船舶をもつてこれに充てる）による

五、東京―新京線は主として移民輸送、大阪―新京線は主として雜貨輸送を行ふ

大體右の要項に基き遞信、拓務、陸海軍、農林等關係各省の間で協議を進め近く設立に着手する豫定であるが、これと共に羅津以北の鐵道運賃の低減についても滿鐵と折衝する方針である

奉天のコレラ遂に邦人に飛火
眞性決定これで六人

奉天市大和區江ノ島町二〇宮島のり子（四三）さんは去る九日發病十日午後に至り醫師の診察を受けた所コレラの容疑濃厚のため直ちに市立傳染病院分院に收容すると共に病因探求中の所、十二日午前十一時疑似コレラと決定、その旨防疫委員會から發表されたが、午後二時半に至りつひに眞性と決定した、同地附近は交通を遮斷して大消毒を行つてゐるがつひに邦人居住區域へのコレラ侵入は在奉邦人に大恐慌を來してゐる、なほ邦人の罹病者は全滿で始めてである

なほコレラ疑似患者として收容中十一日夜死亡した皇姑屯交通遮斷區城內順城中街居住劉長在（三二）については細菌檢査の結果十二日午前一時眞性コレラと決定、この旨發表した、これで眞性コレラは六人發生した譯で防疫當局は必死の防衛陣を布いてゐる

獻金二件

十二日中央通署への國防獻金寄託二件、三笠町三丁目一ノ一鷲田小平次氏は齒の金冠及び婦人用金帶締め數點を、祝町五丁目二中川豐三郎氏は亡父の香奠返しとして金一封をそれぞれ寄託

皇軍戰病歿將兵の御遺骨奉迎送
今夕公會堂へ奉安

皇軍戰病歿將士の御遺骨十三日午後四時二十分、五十五柱同七時三十五分一柱新京着、驛より中央通り吉野町を經て公會堂に到り奉安、同夜八時三十分から翌十四日午前十時まで通夜十時公會堂前日本橋通りを經て驛に同十時三十分發列車で南へ奉送

トラック苦力を刎ねる

十二日午後三時頃市內東二條通石屋恒順泰方雇人、河北省生れの王雲龍（二二）が同店トラツク（首一五一、二番）に石材を滿載し城內永長路附近を疾走中突然街路上に走り出た子供を避けんとして急カーブを切つた刹那、通行中の苦力風廿五、六歲の男を刎ね飛ばし頭骸骨を粉碎して即死せしめなほ餘勢をもつて永長路二一無職高興賢方に突入家屋を大破して停つたが、一時は大變な騷ぎであつた、無殘な即死を遂げた男は懷中に金七十錢入りの財布を所持するのみで身許その他一切不明、なほ急報に接した長通路警察署員は直ちに現場調査を行ふ一方王雲龍を同署に引致、嚴重取調中である

燈管訓練
けふは大經區

十三日燈管基礎訓練實施地域は大經區で左の如くである

西三馬路、大經路、康大路、吉林大路、長春大路、豐樂路、南關大路、西頭道街、西五馬路、西四馬路、淸明街、長春北胡同、西二馬路、西三道街、天安街、天安路、民　西四道街、咸陽路

涼風うけて　……郊外所見……

日滿支書道展
今秋開催

書道を通して日滿支三國の親善を圖る、日滿支親善書道展覽會の開催につき泰東書道院會頭淸浦奎吾伯の內意を受けて同院主事、細田謙藏氏は八十一歲の老軀を提げてこの程來京し、民生部、弘報處其の他關係機關と折衝中のところ愈々在滿諸機關の贊同を得て本年十一月を期して新京と奉天で盛大に開催される事になつた

新京での會場は寶山百貨店（十一月一日より五日間）奉天の會場は國立博物館（十一月八日より五日間）で出品される作品は日滿支三國より募集した書道に添へて題讃ある南畫、篆刻等が陳列される

銃後民生の安定確保
食糧品貯藏會社設立

政府は時局下の物資配給に就き軍需並に五ケ年計畫關係資材の優先的配給と相ならんで衣食住必需品の低廉にして圓滑なる配給につき深甚なる關心を寄せ、さきに小麥粉、綿糸布、木材等につきこれが應急策を樹立したが、今回更に銃後の民生安定を確保する見地より生鮮食料品の國內配給を合配化すべく目下關係各部をしてこれが具體策を研究せしめてゐるが、大體左の如き骨子に基き九月頃より實施する方針とみられる

一、國內主要都市別に中央卸賣市場を設置し當該市場に於ける卸賣會社をして生魚鹽干魚、蔬菜類、生果その他必要なる場合には肉類等の卸賣販賣を統制せしむ

一、中央卸賣市場所在地には生鮮食糧品貯藏會社を設立し生鮮食料品の蒐貨、保管並に卸賣會社への配給を行はしむ

一、右貯藏會社は都市近郊の農民をして蔬菜類の栽培を助成するため必要なる保護援助を行ふと共に各沿海河の漁民をして漁業組合を結成せしめ生魚の購入、輸送等に就き緊密なる連絡を行はしむ

なほ本年度に於ける右食料品貯藏會社の設立候補地は新京奉天、吉林、哈爾濱、齊々哈爾、營口の六都市で差しあたりこれが第一着手として新京には資本金百萬圓を以つて設立されるものとみられ順次各都市にも設立される模樣である

關東州郵便局所國幣の受入れ開始

從來關東州內郵便局所では滿洲國々幣の受入れは出來なかつたが、日滿關係の緊密化に伴ひ國幣の州內流通が頻繁となり公衆の不便が增大するに至つたので、遞信局では國幣の便宜受入れに關しかねて關東局に對し承認方を申請中であつたが、今回いよいよ認可指令に接したので直ちに關係銀行等と折衝を開始し着々準備を進めてゐるが、大體來る廿日頃より一齊に國幣の受入れを開始することゝなる模樣で、これによつて日常不便を感じてゐた市民も非常な利便を受けることゝなつたわけである

協和會全聯への首都本部九代表
きのふ委員會で決定

去る七月二十六日より三日間に亙つて開かれた首都聯合協議會で全聯代表候補者十三名を發表したが、首都本部委員會で愼重審査を進め、十二日國都市民の代表者として王道政治の華全聯に送るべき代表者及補欠九名を左の如く正式決定した

【代表】李義順（外務局分會）難波宗治（電業分會）王子周易義（長通路分會）柴田正衛（四道街分會）寺中楠治（富士中央分會）朴準秉（朝鮮人分會）【補欠】池田武範（祝町分會）孫長富（南關分會）

家屋賃貸價格の諮問委員推薦

協和會の擴充發展に伴つて最近の傾向として特に注目せられてゐるのは市諮議會員、區法院調停委員の推薦等着々初期の目的通りその政府實體への進出を實現しつつあるが、更に本年一月一日より施行せられた家屋税法に依り課税標準である家屋賃貸價格の決定を爲さんとする場合は税務監督署長の囑託した諮問委員の意見を聽取することとなり、この程これが委員の詮衡方を新京税捐局より首都本部長に委囑して來たので、本部では委員會を開催愼重協議の結果左の如く十一名の候補を決定税捐局長宛推薦することとなつた、選ばれた諸氏は何れも國都の有力者で各方面の關係者を網羅してゐる

【推薦委員候補】宇野常吉氏（日本橋分會長）杉浦三郎氏（房產會社）天野恒太郎氏（朝日分會長）梅津淸兵衛氏（新京銀行代表）鯉沼兵士郎氏（市財務處長）王子衡氏（中央本部委員）展子祥氏（祝分會評議員）史煥亭氏（元商務會副會長）孫化南氏（諮議會員）【補缺】杜蔭棠氏（大經路分會長）大原光太郎氏（祝分會役員）

京津旅客機就航

【北京十二日發國通】かねて工事を急いでゐた北京民間飛行場はこの程落成したので北京、天津間の營業定期航空路を設定し十日から一般民間乘客の取扱を開始した、これにより內地、滿鮮から北京への交通は非常に便利となつたわけである

第五回大典記念武道大會要項
申込は九月十五日迄

スポーツ滿洲の秋を飾る「大典記念武道大會第五回大會」は例年の如く滿洲帝國武道會主催、民生部後援のもとにいよいよ來る九月廿五日午前九時から國都大經路國民優級學校、八島小學校兩會場において熱戰の幕を切つて落すことゝなつたが本年は柔劍道のほかに新たに日本武術の粹、弓道が追加され全國から一流の選手參加のはずである、なほ大會要項はつぎの如くであるが、參加希望者は九月十五日迄に民生部內滿洲帝國武道會宛申込まれたいと

△會場　劍道―大經路國民優級學校、弓道―同上、柔道―八島小學校、但し入場式は柔、劍、弓道何れも大經路國民優級學校講堂において擧行

△團體編成　選士五名、補缺一名、監督一名、選士は四段以下とす、但し一團體より一組以上の出場を認めず

△試合、勝負法　勝殘法による

「柔道」「イ」選手五名をもつて決す（選士出場順位の變更を認めず）【ロ】一本勝負點取とす、但し大將は一點五分とす、同點なる時は代表者をもつて決す、代表は二回までとしなほ引分の時は最後代表者にて優劣をもつて勝負を決す、優劣決し難き時は抽籤による【ハ】試合時間は大將七分以下五分（代表戰は七分とす）

「劍道」【イ】選士五名をもつて決す（選士出場順位の變更を認めず）【ロ】一本勝負點取とす

「弓道」【イ】一手持競射（十射の豫定）【ロ】得點合計をもつて優勝を決す

香港發新嘉坡へ
わが遣歐使節團一行

【香港にて十二日友松國通特派員發】滿洲國遣歐經濟使節團一行を乘せた照國丸は十二日午前七時朝靄の中を滑り込むやうに香港々內に入つた、香港駐在日本領事から上陸は時節柄差控へてもらひたいとの忠告で使節團一行は萬全を期して上陸を見合せた、出迎への早崎香港總領事代理をはじめ香港在留日本人多數の出迎へを受け船內において一同シャンパンの盃をあげて健康を祝した、かくて午後三時照國丸は香港拔錨一路シンガポールへ向つた

全國中等野球けふ開幕

【大阪國通】全日本野球ファンの昂奮を絕頂に迫ひやる第二十四回全國中等優勝野球大會はいよいよ十三日より八日間に亙つて甲子園球場で開催その熱球譜を繰り展げるが、組合せは十二日抽籤の結果次の如く決定した

△第一日（第一回戰）高崎商業對北海中學、日大三中對下關商業、大分商業對臺北一中

△第二日（第一回戰）仁川商業對天津商業、坂出商業對掛川中學、平安中學對海草中學

△第三日（第二回戰）甲陽中學對山形中學、岐阜商業對松本商業、京阪商業對福岡工業

△第四日（第二回戰）鳥取一中對青森師範、淺野中學對敎賀商業及び抽籤による一試合

△第五日　二回戰二試合及び準々決勝一試合

△第六日　準々決勝三試合

△第七日　準決勝

△第八日　決勝

新京男子籠球大會
愈よあす擧行
試合組合せ決定す

體育聯盟新京事務局主催新京男子籠球選手權大會は十四日午前十時より大經路國民優級學校コートで擧行されるが十二日午後三時より市會議室で各チーム代表者が參集協議の結果組合せを左の如く決定した

▽第一回戰

A、中銀――民生部

B、總務廳――新京商業

C、交通部――第二國民優級學校

不戰一勝、新京醫大、監白、零々、寒江隊、中央商業

▽第二回戰

D、A勝者――中央商業

E、監白――新京醫大

F、B組勝者――寒江隊

G、C組勝者――電々

▽準決勝戰

H、D組勝者――F組勝者

I、E組勝者――G組勝者

▽決勝戰

H組勝者――I組勝者

日滿職員野營また又延期

天候不良のため一ケ月延期して十三日から實施する豫定であつた新京日滿聯合職員修練野營はまたまた天氣に惠まれず一日延期することに決定した

興銀琿春支店

滿洲興業銀行では最近に於ける琿春地方の經濟的發展に鑑み同地に支店を設置することゝなり九月頃開設の運びに至る模樣である

土壤學の權威者木田氏來京

土壤學の世界的權威者木田芳三郎氏は滿拓社員に迎へられ十二日午後四時三十分着列車にて朝鮮經由來京した、同氏は約一週間に亙り滿洲各地の土質を研究の上北支に向ふ豫定である

中銀週報

滿洲中央銀行發表＝七月卅一日から八月六日までの一週間における貨幣發行平均額左の通り

貨幣發行額　二六四、九九二、一〇九圓
紙幣　二三〇、八二〇、一六〇圓
準備　一六一、二二一、四五一圓
保證　一〇九、七九八、七〇九圓
鑄幣　三四、一七一、九四九圓

プレンソーダ

電業本社普及係長の法林一磨君先づ自分から國策の線に沿はうとあつてザン斬り頭にしてしまつた▼所で先日來京中の一友人を某旅館に訪ねたのだが、折柄大相撲一行の興行中、同君は浴衣がけであの童顏に肥えふとつた身體であるすつかりお相撲さんの下つぱと間違へられ「さうぢやないんだよ」と說明するのに苦勞したといふ▼「どうもあれには弱つたよ」さう言ひ乍ら同君、ペンペンたる腹をピシャリとたたいて「カンラカンラ」と笑つたものである

若殿膝栗毛（八十二）

中川一之助 作
竹　一郎 畫

仇討船

それもその筈。

船頭と思つて居たのが、若殿長七郎であつた。

もう一人の船頭は？ と、軸の刀を振り回ると、更に意外、永榮の倅健之助が、怨みの眦を釣り上げてこちらを睨んで居る。

「俺は……謀られたか」

見る／＼三人は赤い顔から蒼い顔へ。逃げようにも船の中、どうすることもできなかつた。

この様子を、向うの船から見て居た五太夫と釜五郎。

「オヤ／＼船頭と喧嘩が始まつた。様子がどうも變だぞ」

気を揉む二人を餘所に、三右衛門素知らぬ顔だ。

◇

篤綱が睨いた眼り船、艫付の城代小笠原三右衛門を、旅籠屋萬屋の二階へ引つぱり上げて、長七郎自身段々と調べ上げて行く中に、

「實は、家老船橋五太夫が、駒子町の博徒釜五郎なる者を語らひ、日人方に滯在中の江戸浪人雨宮小十郎等に、君を討たせようと致しましたので……」と、三右衛門の白状。

寝た間も忘れたことのない讐敵の居所が分つたので、思ひがけない喜びに飛上つたのは、傍に居た健之助であつた。

だから、三右衛門の使と僞つて今朝小十郎等三人を、安倍河原へ釣り出したのは、言ふまでもなく長七郎の書き卸した狂言であつた。

三人が、それと気の付いた時は既に遅い。

船は安倍川の中流に滑んで、どちらを見ても飛込めば、助かりツこの無い青淵。只だ彼方に五太夫や釜五郎等の船のあるだけが、一縷の頼みの綱。

「オーイ、大爺さん、此方へ來い…」

眼も外聞も忘れて、大手を擴げて、救ひを求める見苦しさ。

「其方たちも武士でないか。武士らしく覗を知つて、それなる健之助に討たれて遣れ。但し手向致さば、予が助太刀を致す」

苫の下に隠してあつた愛刀因幡小鍛冶を提げてヌックと立つた長七郎。鯉口の半天に股引といふ船頭姿だが、威風あたりを拂つて凛然たる有様。

こちらの船では、五太夫に釜五郎が、頻りに気を揉んで。

「あツ、手を振つて頻りに何やら喚いて居ります。どうも只事とは思へません。御城代船を寄せて遣りませうか」

けれども三右衛門は、横を向いて煙草スパ／＼。

「どうせ、酔ばらひの悪巫山戯だから、打棄つておけ／＼」と、テンデ相手にならうともしない。

その中に、所詮助からぬ所と観念した此方の三人。窮鼠反つて猫を咬む、名々一刀の柄を握つて、

「承知。屋寺兵衛を殺したのは、如何にも我々だ。高が素町人、武士に對つて無禮を働いた故、無禮討に致した。それに敵討とは猪口才な奴。サア來い、汝も一しよに冥途の旅だ」

中にも小十郎は、腕に覺えのある剣客。いきなり長七郎を目がけて斬つけ、あとの鳥居、六尻の二人は、健之助を狙つた。

「あツ、到頭斬合が始まつた。あの船頭、只者でない。御城代々々々」

此方では、五太夫に釜五郎、目を剥いて益々気を揉んでゐる。

仇討船では、健之助危しと見て取つた長七郎。小十郎の切先を躱して、飛鳥の如く飛込みざま、

「えいツ」と、鋭い気合と共に、右に振つた一刀に、肩口から胸へかけ斬つけられた鳥居鐵太郎。